

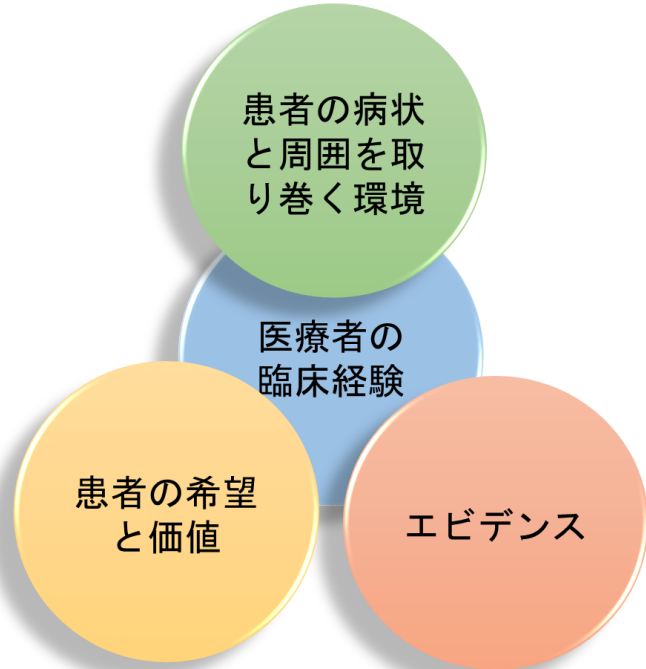
# Google ScholarとPubMedを用いた 文献検索のポイント



- ・ JCHO星ヶ丘医療センター リハビリテーション部理学療法士  
浦上慎司

# 概要

情報がなぜ必要なのか



情報の明確化 (PICO)

PICO

どのような患者に	Patient
どのような評価、治療をしたら	Intervention
何と比較して	Comparison
どのような結果になるか	Outcome

検索式の作成、文献検索演習

Google Scholar



翻訳機能の紹介



# 補足資料

GACoS(ガコス)はインターネットで文献などの学術情報を探するためのゲートウェイです。東京大学にご所属のみなさんの情報収集活動をサポートします。

English

<https://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/>



研究者のためのGoogle活用術 ~Google Scholarを中心に~ 2017

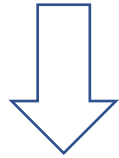
<http://jspt.japanpt.or.jp/ebpt/>

# Evidence-Based Medicine

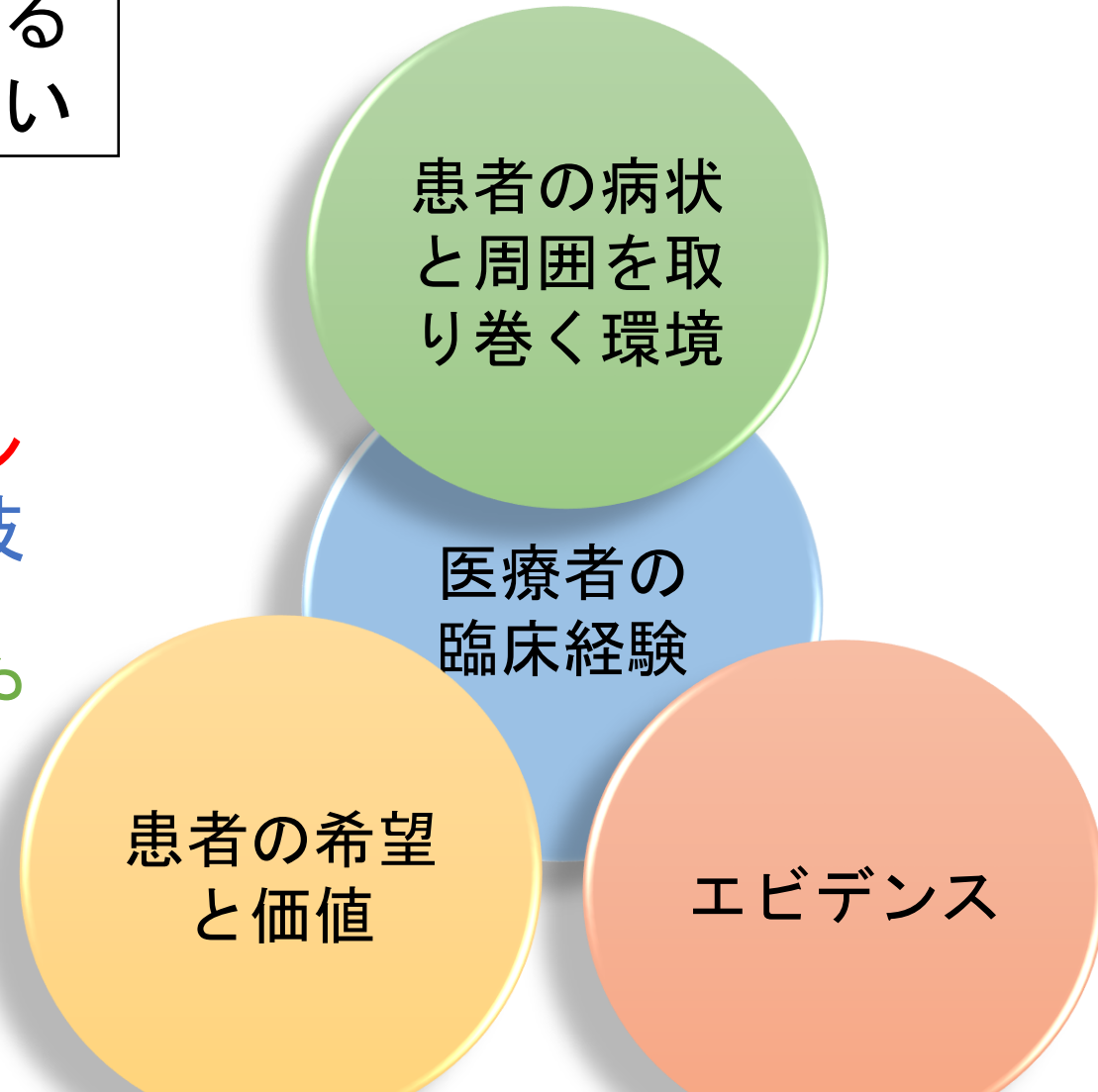
根拠(または証拠)に基づく医療

## 誤解

EBMはエビデンスに基づいて行われる医療であり、経験はEBMに含まれない



ただ研究によって明らかにされた**エビデンス**だけではなく、**医療者の専門的知見や技術**、**患者の価値感への配慮**、**臨床状況**(もちうる設備など)や**患者自身の状況**(文化や経済状況など)を考慮して行うもの



# 医療者における意思決定（治療中における意思決定）



治療中では、**自分の経験や知っている情報のなか**で考察しやすい

主観的になりやすい

新人PT： それでは、次に膝が動く範囲を検査してみましょう。  
仰向けになって、右膝を曲げられるところまで曲げてみてください。  
もし、曲げているときに痛みが出れば、その時点ですぐにおっしゃってください。

〇〇さん： はい、分かりました。（〇〇さんがベッドに仰向けになった右膝を曲げる）

新人PT： それでは、次に膝を曲げたり伸ばしたりする筋肉の力を検査してみましょう。まずは、痛みのない左膝の方から検査していきたいと思えます。  
それでは、次に右膝を伸ばしてみてください。

新人PT： それでは、次に歩く状態を検査してみましょう。  
ここの歩行路は10mありますが、ここから向こうに見える白い線を越えて壁の方に向かって、最初は普通で歩いていただき、次はできるだけ速く歩くようにしてみてください。

〇〇さん： はい、分かりました。（〇〇さんが歩行路を歩く）

新人PT： 今日の検査は以上で終了です。  
次回からは右膝の痛みの治療と右膝の筋肉の力を強くする運動をはじめていきたいと思えます。

〇〇さん： はい。よろしくお願いします。

# 医療者における意思決定（治療時間外における意思決定）



自分の知らなかった情報、あるいは新しい知見を調べることで**治療中の評価が適切なのか**を判断することができる。

新人PT：先週から担当した大腿骨近位部骨折の患者さんについて、病棟スタッフによるカンファレンスがありました。そこで、目標設定のために2カ月後に歩行できるかどうかということを知りたいと聞かれました。初期評価を行って、患者さんの状態は把握しているのですが、なんせ経験もそれほど無いので、はっきりと答えることができませんでした。「85歳で、やや高齢なので歩行までには時間がかかるかもしれません」とだけ話しておきました。

こういった予後予測のための**エビデンス**と言いますか、判断の頼りになる方法は無いものでしょうか？やはり経験を積む以外、ないのでしょうか…。

先輩PT：なかなか難しい質問ですね。確かに経験は必要だと思います。しかし、いくら経験を積んでもカンだけ頼って判断するのは危険です。文献をもとにして予後予測因子を探し、その情報から客観的に判断する習慣を身につけるべきです。まずは、文献を探してみてください。

新人PT：インターネットから**NII論文情報ナビゲータ (CiNii)** や **Google scholar** を使って、文献を検索してみました。PDF形式のファイルでダウンロードできるものを印刷して読みました。また、**医療情報サービスMinds**でも、**大腿骨頸部／転子部骨折の『機能予後（歩行能力）』**という解説がありました。

先輩PT：なるべくなら文献検索は、さらに広い範囲で行った方がよいです。EBPTチュートリアル「**エビデンスを検索するには**」などを参考にしてみてください。さしあたり検索し得た情報から、何か発見はありましたか？

新人PT：文献をまとめてみたら、共通した危険因子として、認知症、受傷前歩行能力が低い、高齢といった要因が挙げられていました。特に認知症については、ほとんどの文献で取り上げられています。

# Level of Evidence (エビデンスの種類)

表3 「理学療法介入」のエビデンスレベル分類

エビデンスレベル Level of evidence	内容 Type of evidence
1	システマティック・レビュー/RCT のメタアナリシス
2	1つ以上のランダム化比較試験による
3	非ランダム化比較試験による
4a	分析疫学的研究(コホート研究)
4b	分析疫学的研究(症例対照研究, 横断研究)
5	記述研究(症例報告やケース・シリーズ)
6	患者データに基づかない, 専門委員会や専門家個人の意見

EX:  
脳卒中患者  
の8割ほどの  
患者に対す  
るリハビリ

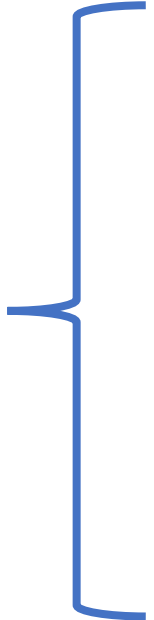
EX: ある患者さ  
んに役立つ情報

RCT: randomized controlled trial 理学療法ガイドライン-推奨グレードの決定およびエビデンスレベルの分類

[http://www.japanpt.or.jp/upload/jspt/obj/files/guideline/12\\_apoplexy.pdf](http://www.japanpt.or.jp/upload/jspt/obj/files/guideline/12_apoplexy.pdf)

# 症例報告における解釈

- エビデンスレベルが低いから無意味ということではない
- 目の前の対象者と比較して

- 
- 症例の疾患、特徴
  - 介入、アウトカムが何か
  - 結果が妥当か

対象者に適応できるかを吟味することが必要



# PICO

<b>P</b> atient	どのような患者に  (40代の脳卒中左片麻痺患者)
<b>I</b> ntervention	どのような評価、治療をしたら  (ステッピング練習や荷重練習を中心とした課題指向型練習)
<b>C</b> ompar i son	何と比較して  (トレッドミル歩行練習)
<b>O</b> utcome	どのような結果になるか  (歩行速度改善)

# エビデンスを検索するには

HOME	EBPTの基礎	EBPTワークシート	イラストで見るEBPTの実践	エビデンスを検索するには	リンク
	EBPTの基礎			<ul style="list-style-type: none"><li>○ エビデンスを検索するには<ul style="list-style-type: none"><li>→ EBMに関するサイトおよび文献データベース紹介（国内）<p>(1) 臨床ガイドライン関連国内では無料で公開されているガイドラインは少なく、多くは有料の刊行物として発表されています。リハビリテーション医療に関係する…<a href="#">もっと読む</a></p></li><li>→ Google Scholarの紹介</li><li>→ EBMに関するサイトおよび文献データベース紹介（海外）<p>(1) 臨床ガイドライン関連海外では、国立機関や医師会などによって作成あるいは収集された各種ガイドラインがそれぞれの機関のwebから検索できます。Australian…<a href="#">もっと読む</a></p></li><li>→ SUMSearchの紹介</li><li>→ PEDroとは<p>インターネット上に公開された理学療法領域における文献データベースであり、以下の情報を提供している二次情報源です。 <a href="http://www.pedro.org.au/">http://www.pedro.org.au/</a> …<a href="#">もっと読む</a></p></li><li>→ PEDro検索のコツ</li><li>→ PHYSIOTHERAPY CHOICESの紹介</li><li>→ PEDro advanced searches検索のための選択メニュー一覧</li><li>→ PEDro scaleの解説</li><li>→ キーワードを探す – PEDro検索の幅を広げるためのノウハウ</li><li>→ PubMedとは<p>世界約70カ国、約5,000誌以上の文献を検索できる医学・生物学文献データベースです。インターネット上において随時無料で利用できます。以下のURLからアクセス…<a href="#">もっと読む</a></p></li><li>→ PubMed検索のコツ</li><li>→ 条件を絞って検索する：“Limits”機能</li><li>→ 臨床医学領域の文献検索に適した“Clinical Queries”の特徴と使用方法</li><li>→ 検索結果を自動的にメール配信する“My NCBI”の特徴と使用方法</li></ul></li></ul>	
	EBPTワークシート				

## • Google Scholar

web検索サイトのGoogleの拡張機能の1つで、日本語での学術論文の検索が可能です。

日本の文献が非常に多く登録されています。

分野や発行元を問わず、国内外の学術出版社、専門学会、プレプリント管理機関、大学、およびその他の学術団体の学術専門誌、論文、書籍、要約、記事を検索できる検索エンジンで、資料によっては無料で全文を閲覧できるサイトにリンクしている場合も多く、重宝します。

## • Pubmed

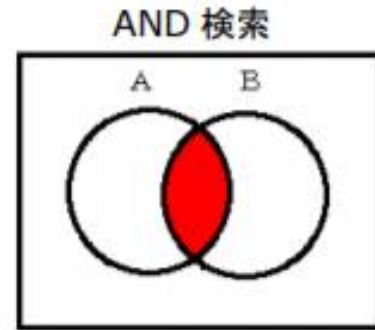


世界約70カ国、約5,000誌以上の文献を検索できる医学・生物学文献データベースです。インターネット上において随時無料で利用できます。

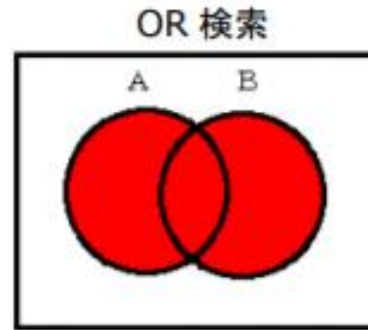
EBPTチュートリアル エビデンスを検索するには  
<http://jspt.japanpt.or.jp/ebpt/evidence/>

# Google検索式のルール

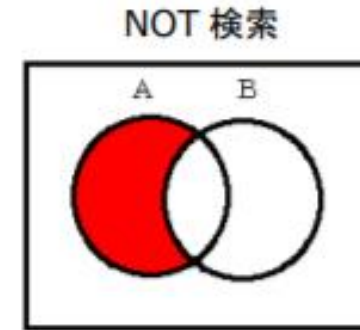
## Google Scholar の検索のコツ



両方含む



どちらかを含む



不要なものを除外

入力例

※原則として、記号は半角で入力。OR は半角大文字で入力。

キーワードの間にスペースを入れる。

•AND 検索

ips cells

“ ” の有無で検索結果がどのように変わるか見比べる。

•フレーズ検索

“ips cells”

OR で検索漏れを防ぎ、検索の幅を広げる効果あり。  
OR の前後にはスペースを入れる。

•OR 検索

“ips cells” OR ipscs OR “induced pluripotent stem cells”

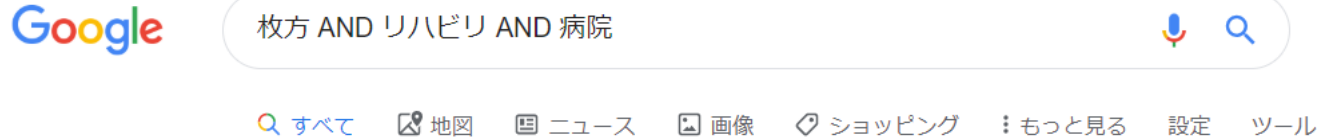
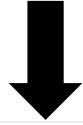
マイナス記号の後ろにはスペースを入れない。

•NOT 検索

“ips cells” -yamanaka

# 検索式のイメージ

主観的：枚方で星ヶ丘医療センターが有名であろう…



約 10,300,000 件 (0.53 秒)

枚方市のリハビリテーション科/リハビリ科(大阪府) 入院 ... - 病院  
なび

<https://byoinnavi.jp> > 大阪府 > 枚方市 > 入院設備 ▼  
大阪府枚方市の入院設備のあるリハビリテーション科/リハビリ科の病院・クリニック一覧です。病院なび(病院ナビ)では「女医」「夜間診療可能」「ネット予約/電話予約」などの条件で全国の医療機関の情報や評判を検索できます。

枚方市のリハビリテーション科/リハビリ科の病院・クリニック(大阪府) ...

<https://byoinnavi.jp> > 大阪府 > 枚方市 ▼  
大阪府枚方市のリハビリテーション科/リハビリ科の病院・クリニック一覧です。病院なび(病院ナビ)では「女医」「夜間診療可能」「ネット予約/電話予約」などの条件で全国の医療機関の情報や評判を検索できます。

リハビリテーション科/病院・クリニック・医院 (枚方市) アクセス ...

[www.homemate-research.com](http://www.homemate-research.com) > cid15638 > ranking > access ▼  
枚方市にあるリハビリテーション科の病院をアクセス数・投稿数をもとにランキングにご紹介。病院の詳細ページには基本情報などを掲載していますので、気になる病院があったら、併せてチェックするのがおすすめです。枚方市でリハビリテーション科の病院を ...

リハビリテーション科 | 枚方公済病院 -救急指定病院 (内科循環器 ...)

...  
[www.kkr-hirakoh.org](http://www.kkr-hirakoh.org) > departments > co\_medical > rehabilitation ▼  
リハビリテーション科には医師5名(兼務)、理学療法士12名、言語聴覚士1名、健康運動指導士1名、助手2名が在籍し、心大血管疾患リハビリテーション、呼吸器リハビリテーション、運動器リハビリテーション、脳血管疾患・摂食嚥下リハビリテーション、がん ...

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター | 地方 ...

<https://www.gh.opho.jp> > osaka > omscc > facility > rehab > list > rehab\_19 ▼

リハビリテーション科コース 協力施設一覧. ... また呼吸器専門医の指導のもとでCOPD、間質性肺炎を中心とした呼吸器疾患のリハを行っており、脳血管疾患とともに枚方市周辺の病院とPTの勉強会や全国講習会を開催することを通じて病院間の連携を図っ ...



6ページ目に  
やっと...

# Google検索式-OR検索

Google Scholar

脳卒中 OR 予後予測



記事

約 20,600 件 (0.05 秒)

期間指定なし

2019 年以降

2018 年以降

2015 年以降

期間を指定...

関連性で並べ替え

日付順に並べ替え

すべての言語

英語 と 日本語のページを検索

特許を含める

引用部分を含める

アラートを作成

## 脳卒中治療ガイドライン

篠原幸人 - 日本内科学会雑誌, 2004 - jstage.jst.go.jp

抄録 脳卒中大国である日本に従来なかった学会主導型の脳卒中治療ガイドラインを、日本脳卒中学会・日本神経学会・日本脳神経外科学会(脳卒中の外科学会)・日本神経治療学会・日本リハビリテーション医学会の5学会と厚生労働省3研究班が合同で2004年2月に完成した...

☆ ㊦ 引用元 57 関連記事 全5バージョン

[PDF] jst.go.jp

## 脳卒中リハビリテーション患者の早期自立度予測

二木立 - リハビリテーション医学, 1982 - jlc.jst.go.jp

脳卒中患者のリハビリテーション後の最終自立度が、(1)患者の年齢、(2)各時期の自立度、(3)臨床的諸因子の組み合わせにより、早期にどの程度予測可能かを検討した。対象は発症後第30病日以内に入院した脳卒中患者406人で、平均年齢は67.0歳である。自立度は、屋外歩行...

☆ ㊦ 引用元 67 関連記事 全4バージョン

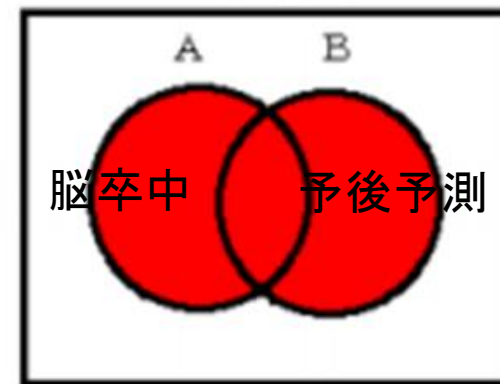
## 在宅脳卒中患者の生活活動と歩行機能の関連

佐直信彦, 中村隆一, 細川徹 - リハビリテーション医学, 1991 - jlc.jst.go.jp

退院後1年以上経った歩行可能な在宅脳卒中患者54例を対象として、10m最大歩行速度(MWS)と75項目の日常生活活動遂行の関係を検討した。性別、年齢、麻痺側、罹病期間、家庭内地位、MWSを説明変数とし、各項目の遂行頻度を目的変数として、数量化し...

☆ ㊦ 引用元 46 関連記事 全4バージョン

OR 検索



どちらかを含む

20600件

# Google検索式-AND検索



期間指定なし

2019 年以降

2018 年以降

2015 年以降

期間を指定...

関連性で並べ替え

日付順に並べ替え

すべての言語

英語 と 日本語のページを検索

特許を含める

引用部分を含める

アラートを作成

もしかして: **脳卒中の予後予測**

## 急性期脳卒中患者の functional independence measure (FIM) を用いた予後予測

寺坂晋作, 竹原康浩, 高島靖志, 宇野英一, 土屋良武... - 脳卒中, 2007 - jstage.jst.go.jp  
抄録 脳卒中リハにおいて予後予測は重要なテーマである. 今回, 急性期脳卒中患者の予後について FIM を用いて検討した. 2005 年 4 月から 1 年間の脳卒中患者 208 例 (くも膜下出血は除外) のうち, 入院から 2 週経過時の運動 FIM が 80 点未満の 123 例を対象とした. 2 週時運動 FIM より ...  
☆ 卵 引用元 14 関連記事 全 5 ページ

[PDF] jst.go.jp

## 脳卒中リハビリテーション患者の早期自立度予測

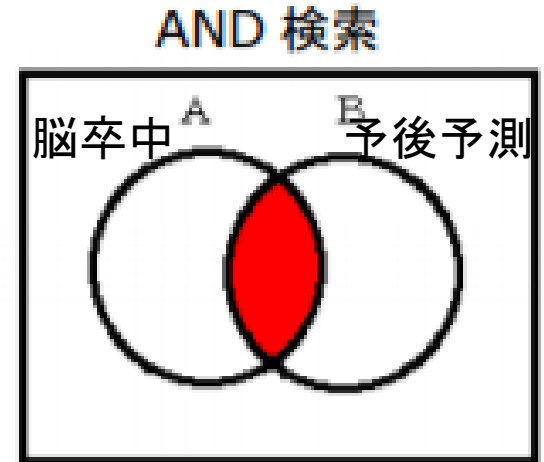
二木立 - リハビリテーション医学, 1982 - jlc.jst.go.jp  
... IV. 結果 1. 全脳卒中患者の入院時重症度分布と層別化 まず ... 以上の結果は, 年齢 (加齢) が最終自立度に重大な影響を与えること, しかし, 年齢 (加齢) だけでは予後は一義的には決められないことを示しているといえよう ... RINDには運動障害が3週間以内に消失した脳出血患者も含む ...  
☆ 卵 引用元 67 関連記事 全 4 ページ

## 脳卒中に伴うえん下障害の予後予測—経口摂取の可否に影響する因子の検討—

寺岡史人, 西真歩, 吉澤忠博, 百瀬瑞穂, 平島靖江... - リハビリテーション ..., 2004 - jlc.jst.go.jp  
嚥下造影検査 (以下 VF) を行った急性期脳卒中 220 例について, 退院時に経口摂取が可能となったか, 一部でも経管栄養を要したかを帰結としてロジスティック回帰分析による予後予測を行った. 対象の年齢 75±10 歳, 脳梗塞 154 例, 脳出血 66 例, 平均入院期間 106±62 日であった. 173 例 ...  
☆ 卵 引用元 10 関連記事 全 4 ページ

## 脳卒中急性期から亜急性期にかけての半側空間無視の臨床経過と予後予測

豊田章宏, 島健, 平松和嗣久, 辻上周治... - リハビリテーション医学, 2000 - jlc.jst.go.jp  
半側空間無視 (USN) の急性期の臨床経過を明らかにするために, 急性期脳卒中症例 128 例を対象として, 3 種類の机上テスト (抹消試験, 線分二等分試験, 模写試験) と日常生活動作 (ADL) から USN の臨床経過を観察した. ADL 上の USN は個々の机上テストよりも 3 ...  
☆ 卵 引用元 7 関連記事 全 4 ページ



6220件

# Google検索式-NOT検索

Google Scholar

(脳卒中 AND 予後予測) -"Supplement" -"抄録集" -"大会誌"



記事

約 5,450 件 (0.05 秒)

期間指定なし

2019 年以降

2018 年以降

2015 年以降

期間を指定...

関連性で並べ替え

日付順に並べ替え

すべての言語

英語と日本語のページを検索

特許を含める

引用部分を含める

アラートを作成

もしかして: (脳卒中 AND 予後予測) -"Supplement" -"抄録集" -"学会誌"

急性期脳卒中患者の functional independence measure (FIM) を用いた予後予測

寺坂晋作, 竹原康浩, 高島靖志, 宇野英一, 土屋良武... - 脳卒中, 2007 - jstage.jst.go.jp

抄録 脳卒中リハにおいて予後予測は重要なテーマである。今回、急性期脳卒中患者の予後について

FIM を用いて検討した。2005 年 4 月から 1 年間の脳卒中患者 208 例 (くも膜下出血は除外)

のうち、入院から 2 週経過時の運動 FIM が 80 点未満の 123 例を対象とした。2 週時運動 FIM より ...

☆ ㊦ 引用元 14 関連記事 全 5 バージョン

脳卒中リハビリテーション患者の早期自立度予測

二木立 - リハビリテーション医学, 1982 - jlc.jst.go.jp

... IV. 結果 1. 全脳卒中患者の入院時重症度分布と層別化 まず ... 以上の結果は、年齢 (加齢)

が最終自立度に重大な影響を与えること、しかし、年齢 (加齢) だけでは予後は一義的には決められ

ないことを示しているといえよう ... RINDには運動障害が3週間以内に消失した脳出血患者も含む ...

☆ ㊦ 引用元 67 関連記事 全 4 バージョン

脳卒中急性期から亜急性期にかけての半側空間無視の臨床経過と予後予測

豊田章宏, 島健, 平松和嗣久, 辻上周治... - リハビリテーション医学, 2000 - jlc.jst.go.jp

半側空間無視 (USN) の急性期の臨床経過を明らかにするために、急性期脳卒中症例 128

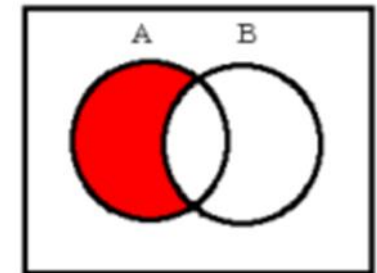
例を対象として、3 種類の机上テスト (抹消試験, 線分二等分試験, 模写試験) と日常生活動作

(ADL) から USN の臨床経過を観察した。ADL 上の USN は個々の机上テストよりも 3 ...

☆ ㊦ 引用元 7 関連記事 全 4 バージョン

[PDF] jst.go.jp

NOT 検索



不要なものを除外

脳卒中  
+  
予後予測

学会抄録

6220件 ➡ 5450件



# Intitle:〇〇によるタイトル検索で絞り込む



期間指定なし

2019 年以降

2018 年以降

2015 年以降

期間を指定...

関連性で並べ替え

日付順に並べ替え

すべての言語

英語 と 日本語のページを検索

特許を含める

引用部分を含める

アラートを作成

もしかして: (脳卒中 AND 予後予測)(intitle:歩行) -"Supplement" -"抄録集" -"学会誌"

**脳卒中** (視床出血) 患者における初期情報からの**歩行能力予後予測** 多変量解析からの試み

葦石安利 - リハビリテーション医学, 1987 - jlc.jst.go.jp

視床出血患者 30 例の**歩行**能力到達度を, 初期情報から**予測**することを試みた.

**予後**に影響する共通因子として, 年齢, 左右, CT 分類, 血腫量, 入院時意識レベルを用いた.

従来の報告では, 各因子と**予後**との関係が, 個別に論じられていたが, 多変量解析-数量化 I ...

☆ 09 引用元 6 関連記事 全 4 パージョン

**脳卒中**急性期での**歩行**の**予後**に關与する因子の検討

藤野雄次, 秦和文, 花房祐輔, 石原俊一, 間嶋満 - 理学療法科学, 2012 - jstage.jst.go.jp

... のである. 以上から, **脳卒中**発症後早期の**歩行**能力の可否を推定するための評価法として, TCT

はこれまで採 ... では重症度が高かったことが示されており, 発症早期においては脳出血よりも ...

での**歩行**の可否を**予測**する変数を用いて判別分析を行った結果, 急性期において 的**確な歩行予後** ...

☆ 09 引用元 8 関連記事 全 4 パージョン

片麻痺患者の**歩行**速度への影響因子

江西一成, 大峯三郎, 木村美子, 舌間秀雄, 新小田幸一... - 理学療法学, 1992 - jstage.jst.go.jp

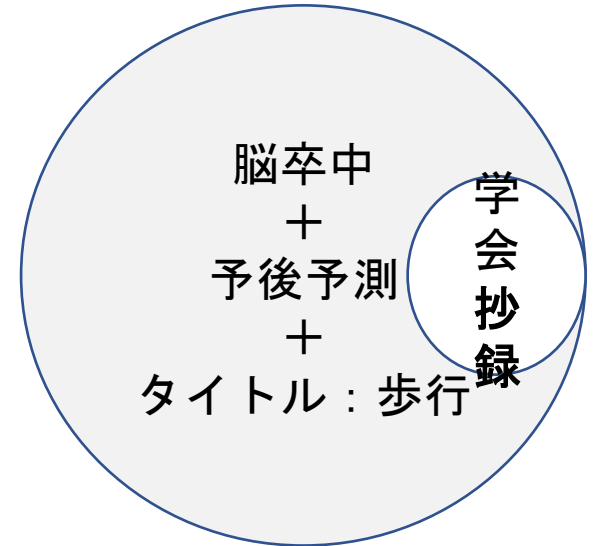
... はじめに **脳卒中**片麻痺患者の**歩行**能力は ADL 自立に大きな比重を占め, 関連する研究

も多く行われている. 特にその**予後予測**については**歩行**能力獲得への阻害因子に關する

検討 1) から, 近年では各患者の初期情報からその後の歩 ...

☆ 09 引用元 25 関連記事 全 2 パージョン

[PDF] jst.go.jp



6220件 ➡ 5450件 ➡ 121件

- Googleは記事タイプの指定ができない  
査読論文, 学位論文, 書籍, 学術抄録, テクニカルレポートetc…
- -” Supplement” -” 抄録集” -” 大会誌” でNOT検索することにより論文を抽出可能に！
- Intitle:〇〇での検索式で絞り込みが可能に！

# Google Scholarの便利機能

## 片麻痺患者の歩行速度への影響因子

江西一成, 大峯三郎, 木村美子, 舌間秀雄, 新小田幸一... - 理学療法学, 1992 - jstage.jst.go.jp

... はじめに **脳卒中**片麻痺患者の **歩行能力**はADL 自立に大きな比重を占め, 関連する研究も多く行われている。特にその **予後予測**については**歩行能力獲得**への阻害因子に関する検討 1) から, 近年では各患者の初期情報からその後の歩...

☆ 引用元 25 関連記事 全2バージョン

[PDF] jst.go.jp

保存

後で読みたい論文リストとして保存できる

引用フォーマット

引用

MLA	江西一成, et al. "片麻痺患者の歩行速度への影響因子." 理学療法学 19.5 (1992): 461-466.
APA	江西一成, 大峯三郎, 木村美子, 舌間秀雄, 新小田幸一, & 大川裕行. (1992). 片麻痺患者の歩行速度への影響因子. 理学療法学, 19(5), 461-466.
ISO 690	江西一成, et al. 片麻痺患者の歩行速度への影響因子. 理学療法学, 1992, 19.5: 461-466.

BibTeX EndNote RefMan RefWorks

Google Scholar

マイライブラリを検索

マイライブラリ

マイライブラリ

ゴミ箱  
ラベルを管理...

期間指定なし

2019年以降

2018年以降

2015年以降

期間を指定...

ライブラリ内のすべての論文を表示しています

(脳卒中 AND 予後予測)(intitle:歩行) - "Supplement" - "抄録集" - "大会誌" で検索

片麻痺患者の歩行速度への影響因子

江西一成, 大峯三郎, 木村美子, 舌間秀雄, 新小田幸一... - 理学療法学, 1992 - jstage.jst.go.jp  
抄録 機能的プラトーに達し日常的に歩行している脳卒中片麻痺患者を, 予後良好が予測される患者の到達目標のモデルとし, その最大歩行速度への影響因子, 特に下肢筋力との関係を検討し以下の結果を得た。① 最大歩行速度は年齢と麻痺程度に加え, 十分な健側下肢筋力の下での患側下肢...

引用元 25 関連記事 全2バージョン

[PDF] jst.go.jp

# Google Scholarの便利機能

## 片麻痺患者の歩行速度への影響因子

江西一成, 大峯三郎, 木村美子, 舌間秀雄, 新小田幸一... - 理学療法学, 1992 - jstage.jst.go.jp

... はじめに **脳卒中**片麻痺患者の **歩行能力**はADL 自立に大きな比重を占め、関連する研究も多く行われている。特にその **予後予測**については**歩行能力**獲得への阻害因子に関する検討 1) から、近年では各患者の初期情報からその後の歩...

☆ 99 引用元 25 関連記事 全2バージョン

[PDF] jst.go.jp

↑  
フリーのPDF  
データ

この論文を後に引用  
した論文が検索可

Google Scholarが自動で関連して  
いると判断した記事が出てきます

期間指定なし 2019 年以降 2018 年以降 2015 年以降 期間を指定...	片麻痺患者の歩行速度への影響因子 <input type="checkbox"/> 引用している記事内を検索
関連性で並べ替え 日付順に並べ替え	利き足と非利き足における足把持力および大腿四頭筋筋力の比較 [PDF] jst.go.jp 甲斐義浩, 村田伸, 田中真一 - 理学療法学, 2007 - jstage.jst.go.jp 抄録 本研究は、健康成人男性 15 名 (平均年齢 22.4±5.7 歳, 平均身長 170.2±5.4 cm, 平均体重 62.3±8.7 kg) の左右 30 肢を対象に、利き足と非利き足における足把持力と大腿四頭筋筋力およびそれらの最大値到達時間について比較検討した。利き足の判定については ... ☆ 99 引用元 28 関連記事 全5バージョン
すべての言語 英語 と 日本語のページを検索	障害高齢者の簡易下肢機能評価法 [PDF] jst.go.jp 村田伸, 宮崎正光 - 理学療法学, 2005 - jstage.jst.go.jp 抄録 市販の体重計を用いて測定した下肢支持力の再現性と妥当性について、障害を有する高齢者 43 名 (平均年齢 84.8±6.5 歳) を対象に検討した。測定した下肢支持力の再現性は、級内相関係数 0.823 であり、概ね良好であった。また、下肢支持力を標準化した下肢支持力体重比は、BI ... ☆ 99 引用元 26 関連記事 全5バージョン
<input checked="" type="checkbox"/> 引用部分を含める	下肢荷重力と下肢筋力および座位保持能力との関係 [PDF] jst.go.jp 村田伸, 甲斐義浩, 村田湖 - 理学療法学, 2006 - jstage.jst.go.jp 抄録 本研究は、高齢者の簡易下肢機能評価法として紹介された下肢荷重力測定について、下肢筋力や座位保持能力との関連性から、その測定値が示す意義について検討した。対象としたのは健康成人 31 名 (男性 12 名, 女性 19 名, 平均 20.4±0.6 歳) であり、下肢荷重力 ... ☆ 99 引用元 23 関連記事 全5バージョン
<input checked="" type="checkbox"/> アラートを作成	虚弱高齢者用 10 秒椅子立ち上がりテスト (Frail CS-10) と ADL との関連 [PDF] jst.go.jp 村田伸, 大田尾浩, 村田湖, 堀江淳 - 理学療法学, 2011 - jstage.jst.go.jp [目的] 本研究は、Frail CS-10 の有用性を検討するために、ADL との関連について検討した [対象] 虚弱もしくは軽度要介護高齢者 159 名 (男性 65 名, 女性 94 名) とした [方法] Frail CS-10 と大腿四頭筋筋力について、FIM-M ならびに FIM-M 下位項目との関連をスピアマンの順位相関係数 ... ☆ 99 引用元 24 関連記事 全7バージョン

記事	約 101 件 (0.02 秒)
関連記事	片麻痺患者の歩行速度への影響因子 [PDF] jst.go.jp 江西一成, 大峯三郎, 木村美子, 舌間秀雄, 新小田幸一... - 理学療法学, 1992 - jstage.jst.go.jp 抄録 機能的プラトリーに達し日常的に歩行している脳卒中片麻痺患者を、予後良好が予測される患者の到達目標のモデルとし、その最大歩行速度への影響因子、特に下肢筋力との関係を検討し以下の結果を得た。① 最大歩行速度は年齢と麻痺程度に加え、十分な健側下肢筋力の下での患側下肢 ... ★ 99 引用元 25 関連記事 全2バージョン
	脳卒中片麻痺患者の立位バランスの決定因 [PDF] jst.go.jp 佐直信彦, 中村隆一 - リハビリテーション医学, 1993 - jlc.jst.go.jp 歩行可能な脳卒中片麻痺患者 50 症例を対象として、10m 距離の最大歩行速度、立位時の両足圧中心累積移動距離 (SP)、両膝伸展・屈曲の等速性筋力を測定し、年齢や性などの個人情報および神経学的所見との関連を検討した。重回帰分析の結果では ... ☆ 99 引用元 34 関連記事 全4バージョン
	片麻痺患者の歩行能力と麻痺側機能との関係 [PDF] jst.go.jp 菅原憲一, 内田成男, 石原勉, 高橋秀寿, 橋原彰夫... - 理学療法学, 1993 - jstage.jst.go.jp 抄録 脳卒中片麻痺患者 39 名を対象に歩行速度および歩行自立度に関する因子を知る目的で、上田による 12 段階片麻痺回復グレード法 (以下グレード)、患側下肢荷重率、患側下肢筋力、深部感覚障害、身長、体重、罹病日数、年齢を選びその関連性を検討した。その結果 ... ☆ 99 引用元 56 関連記事 全2バージョン
	[引用] 重回帰分析による慢性期脳卒中患者の歩行能力に影響する諸因子の検討 佐藤秀一 - PT ジャーナル, 1993 - ci.nii.ac.jp CiNii 国立情報学研究所 学術情報ナビゲータ(サイニイ) メニュー 検索 ... ☆ 99 引用元 18 関連記事 全2バージョン
	高齢者における起居移動動作自立に必要な膝伸展筋力について 池添冬芽, 浅川康吉, 羽崎完, 神先秀人, 入江清五... - 理学療法学, 1997 - jlc.jst.go.jp 介護老人ホーム利用者 80 名を対象として、起居移動動作の自立状況および膝伸展筋力を測定し、起居移動動作の自立に必要な膝伸展筋力について検討した。対象者を階段昇降、入浴動作、歩行、トイレ動作、車椅子からベッドへの移乗動作の 5 項目に関して、Barthel index の Mobility index ... ☆ 99 引用元 23 関連記事 全4バージョン

# 論文のアラート機能



【メールアラート機能】 同じ検索式を毎回入力する手間を省きたい方へ  
指定した検索式で最新の論文が出たらメールで教えてもらう。

\* Google アカウントを持っていなくても利用可能。

- 1) アラートを受け取りたい検索式を入力して検索。
- 2) 検索結果画面で、「アラートを作成」アイコンをクリック。(p.4 参照)⇒
- 3) アラートを受け取りたいメールアドレスを入力。
- 4) 画面表示に従って操作する。
- 5) 確認メールが届くので、メール内のリンクをクリックしてリクエストを確認すると完了。
- 6) 登録した検索式での最新論文が出るとメールが届く。

アラートを作成



期間指定なし  
2019 年以降  
2018 年以降  
2015 年以降  
期間を指定...

関連性で並べ替え  
日付順に並べ替え

すべての言語  
英語 と 日本語のページを検索

特許を含める  
 引用部分を含める

アラートを作成

Google Scholar

アラート

アラートのキーワード: (脳卒中 AND 予後予測)(intitle:歩行) -"Supplement" -"抄録集" -"大会誌"

メール: ptahodo0723@gmail.com

検索結果の表示件数: 10 件まで結果を表示

検索結果を更新 アラートを作成

アラートするための検索式

2019 年以降のサンプルの検索結果:

[PDF] 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中片麻痺患者の歩行自立までの期間予測

林真範, 太田郁 - 理学療法学, 2019  
... stage), 病型 (脳梗塞・脳出血) を挙げている。また, 入院期間の予測については, Liu ら 12) が ... 予測式の使用が困難になる問題がある。先行研究では, 脳卒中患者の ... リハビリ実施単位数, 回復期リハビリ病棟での治療アプローチなど, 各病院に ...

[PDF] 脳卒中患者の骨格筋量は歩行獲得の独立した予測因子である

長野文彦, 吉村芳弘, 嶋津小百合, 工藤舞, 備瀬隆広... - 学会誌 JSPEN, 2019  
... 示唆された。脳卒中患者の骨格筋量は 歩行能力の予後予測に有用 ...  
サルコペニアの有症率を解析した結果, 低栄養は脳梗塞の 55.1%, 脳出血の 42.5%, くも膜下 出血の 34.6% で認め, サルコペニアは脳梗塞の 59.1%, 脳出血 ...

[PDF] 回復期脳卒中患者における歩行自立の判定と予測について-歩行自立アセスメントシートと動作レベルスコアを用いて

橋本祥行  
... 医学的情報 脳梗塞 91 13 脳出血 64 8 くも膜下出血 50 入院・社会的情報 ...  
に復帰させるためには, PTがその専門性をいかに発揮することが重要であると考える。  
以上のような背景から, 脳卒中患者の歩行に関する予後予測はこれまでに数多く報告されてい ...

脊髄損傷による完全対麻痺 (L1) から左長下肢装具を用いて歩行が自立した一

検索結果が更新されるとメールが自動で届くようになります！

## ちょっとしたコツ

- 日本語の場合は、介入研究に絞るために『効果・影響・・・』の語があると効率的
- 英語は検索オプションで介入研究の設定が可能なので  
rehabilitation, physical therapy, physiotherapy, therapy, trial  
用いるかは検討が必要

※入れると検索を絞りやすいが重要な論文を省いてしまう可能性が高くなる

# PICOの設定

PICO	クリニカル クエスチョン	日本語での キーワード	英語での キーワード
P	脳卒中患者	脳卒中 脳血管 片麻痺	Stroke Cerebrovascular disease hemiplegia
I	歩行に対するリハビリ	歩行 運動	Walk Gait Motor
O	感覚への影響	感覚 影響 効果	Sensory Sensation Sense Effect Influence impact

# PICOの設定

## 【情報の整理が明確化できていない】

PICO	クリニカル クエスチョン	日本語での キーワード	英語での キーワード
P	脳卒中患者	脳卒中 脳血管 片麻痺	Stroke Cerebrovascular disease hemiplegia
I	歩行に対するリハビリ	歩行 運動	Walk Gait Motor
O	感覚への影響  アウトカムの立て方が おかしい	感覚 影響 効果	Sensory Sensation Sense Effect Influence impact

歩行に対するリハビリ ⇒ 感覚？



# PICOの設定

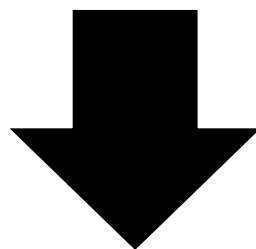
PICO	クリニカル クエスチョン	日本語での キーワード	英語での キーワード
P	脳卒中患者	脳卒中 脳血管 片麻痺	Stroke Cerebrovascular disease hemiplegia
I	電気刺激を用いた介入	電気刺激 リハビリ 理学療法	Electrical stimulation Rehabilitation therapy
O	歩行機能への効果	歩行 運動 効果 影響 試験	Gait walk Effect Influence impact

**電気刺激に対するリハビリ ⇒ 歩行機能への効果○**

## 検索式

### 【Google Scholar】

(脳卒中 OR 脳血管 OR 片麻痺) (intitle:電気刺激) (リハビリ OR 理学療法) (intitle:歩行) (intitle:効果 OR intitle:影響) -" Supplement" -" 抄録集" -" 大会誌"



### 【PubMed】

(stroke OR "cerebrovascular disease" OR hemiplegia) AND ("electrical stimulation") AND (gait OR walk)

※-" Supplement" -" 抄録集" -" 大会誌" →PubMedではこれらは対象外



記事

約 16 件 (0.03 秒)

期間指定なし

2020 年以降

2019 年以降

2016 年以降

期間を指定...

関連性で並べ替え

日付順に並べ替え

すべての言語

英語 と 日本語のページを検索

特許を含める

引用部分を含める

アラートを作成

ペダリング運動と治療的電気刺激の併用が回復期脳卒中片麻痺患者の歩行能力へ及ぼす影響

[PDF] jst.go.jp

松永玄, 山口智史, 大高洋平, 近藤国嗣, 里宇明元 - 理学療法学, 2013 - jstage.jst.go.jp

[目的] 回復期脳卒中片麻痺患者を対象とし, ペダリング運動中に電気刺激を行うことで, 交互運動の改善に伴う歩行能力の改善効果が得られるかを検討した.[方法] 6名の対象者を各2名ずつペダリング運動と治療的電気刺激の併用, ペダリング運動のみ, 治療的電気刺激のみに分け ...

☆ 77 引用元 2 関連記事 全 2 ページョン

歩行神経筋電気刺激装置が脳卒中片麻痺患者の歩行へ及ぼす影響

[PDF] jst.go.jp

吉竹陽介, 藤木良平, 今里篤志, 横尾匠, 西紘希 - 理学療法さが, 2018 - jstage.jst.go.jp

[目的] 回復期脳卒中患者に対し, 歩行神経筋電気刺激装置ウォークエイド®(帝人ファーマ社製: 以下 WA) が歩行動作へ及ぼした効果を, 足底圧分布計測装置 Go-tec GP Mobile Data (パンキフ社製: 以下足底圧分布計測装置) を用いて検証することを目的とした.[対象と方法] ...

☆ 77 関連記事 全 2 ページョン

治療的電気刺激における標的筋の違いが脳卒中片麻痺患者の歩行機能に与える影響

佐々木健吉, 市丸勝昭, 野崎忠幸 - ... 第 39 回九州理学療法士・作業療法 ..., 2017 - jstage.jst.go.jp

[目的] 近年, 脳神経損傷後の神経機能回復促進を目的に治療的電気刺激療法 (以下 TES) が行われている. その中でも随意運動介助型電気刺激 (以下 IVES) は標的筋の筋電信号を基に筋収縮を増幅させる特徴を持つため, TES を歩行中に行うことが可能である. 現在の臨床で IVES ...

☆ 77 全 2 ページョン

O-007 脳卒中患者に対する油圧制動継手付短下肢装具と歩行神経筋電気刺激装置の併用が歩行に与えた効果

田邊継実, 遠藤誠, 藤田聡行... - 関東甲信越ブロック理学療法 ..., 2017 - jstage.jst.go.jp

[目的] 油圧制動継手付短下肢装具 Gait Solution Design (以下, GSD) と歩行神経筋電気刺激装置ウォークエイド (以下, WA) の併用は, 回復期リハビリにおいて初期接地の改善を目的に選択される場合がある. しかしながら介入後の非装着時歩行 (以下, N 歩行) での効果は検証されてい ...

☆ 77 全 2 ページョン

P-172 脳卒中者におけるペダリング運動と電気刺激併用治療が歩行速度, 下肢協調性, 主観的重量感に与える影響

PubMed ▾

(stroke OR "cerebrovascular disease" OR hemiplegia) AND ("electrical stimulation" ) AND (gait OF

Search

Advanced

Help

ここに検索式を入力する

Click here to try the  
**New PubMed!**

An updated version of PubMed is now available.  
Come see the new improvements to the interface!



## PubMed

PubMed comprises more than 30 million citations for biomedical literature from MEDLINE, life science journals, and online books. Citations may include links to full-text content from PubMed Central and publisher web sites.

### Using PubMed

[PubMed Quick Start Guide](#)

[Full Text Articles](#)

[PubMed FAQs](#)

[PubMed Tutorials](#)

[New and Noteworthy](#)

### PubMed Tools

[PubMed Mobile](#)

[Single Citation Matcher](#)

[Batch Citation Matcher](#)

[Clinical Queries](#)

[Topic-Specific Queries](#)

### More Resources

[MeSH Database](#)

[Journals in NCBI Databases](#)

[Clinical Trials](#)

[E-Utilities \(API\)](#)

[LinkOut](#)

### Latest Literature

New articles from highly accessed journals

[Chest \(1\)](#)

[Drugs \(1\)](#)

### Trending Articles

PubMed records with recent increases in activity

Update: Public Health Response to the Coronavirus Disease 2019 Outbreak - United States, February 24, 2020.

# 脳卒中患者・電気刺激・歩行に関する情報



Article types  
Clinical Trial  
Review  
Customize ...

Text availability  
Abstract  
Free full text  
Full text

Publication dates  
5 years  
10 years  
Custom range...

Species  
Humans  
Other Animals

[Clear all](#)

[Show additional filters](#)

Format: Summary Sort by: Best Match Per page: 20

Send to Filters: [Manage Filters](#)

## Search results

Items: 1 to 20 of 380

<< First < Prev Page 1 of 19 Next > Last >>

Sort by:

Best match

Most recent

## Results by year



[Download CSV](#)

## Titles with your search terms

Effects of dorsiflexor functional **electrical stimulation** compared to [J Phys Ther Sci. 2019]

Effect of cycling and functional **electrical stimulation** with linear an [Disabil Rehabil. 2019]

Concurrent impact of bilateral multiple joint functional **electri** [Physiother Theory Pract. 2019]

[See more...](#)

- [Effectiveness of Neuromuscular \*\*Electrical Stimulation\*\* on Lower Limbs of Patients With Hemiplegia After Chronic Stroke: A Systematic Review.](#)  
Hong Z, Sui M, Zhuang Z, Liu H, Zheng X, Cai C, Jin D.  
Arch Phys Med Rehabil. 2018 May;99(5):1011-1022.e1. doi: 10.1016/j.apmr.2017.12.019. Epub 2018 Jan 31.  
PMID: 29357280 [Similar articles](#)
- [Electromechanical-assisted training for walking after stroke.](#)  
2. Mehrholz J, Thomas S, Werner C, Kugler J, Pohl M, Elsner B.  
Cochrane Database Syst Rev. 2017 May 10;5:CD006185. doi: 10.1002/14651858.CD006185.pub4. Review.  
PMID: 28488268 **Free PMC Article** [Similar articles](#)
- [Muscle strengthening for hemiparesis after stroke: A meta-analysis.](#)  
3. Wist S, Clivaz J, Sattelmayer M.  
Ann Phys Rehabil Med. 2016 Apr;59(2):114-24. doi: 10.1016/j.rehab.2016.02.001. Epub 2016 Mar 8. Review.  
PMID: 26969343 **Free Article** [Similar articles](#)
- [Effects of neuromuscular \*\*electrical stimulation\*\* on gait performance in chronic stroke with](#)

380件

### Search Details

#### Query Translation:

```
((("stroke"[MeSH Terms] OR "stroke"[All Fields]) OR "cerebrovascular disease"[All Fields] OR ("hemiplegia"[MeSH Terms] OR "hemiplegia"[All Fields])) AND "electrical stimulation"[All Fields] AND ((("gait"[MeSH Terms] OR "gait"[All Fields]) OR ("walking"[MeSH Terms] OR "walking"[All Fields] OR "walk"[All Fields]))
```



#### Query Translation:

```
((("stroke"[MeSH Terms] OR "stroke"[All Fields]) OR "cerebrovascular disease"[All Fields] OR ("hemiplegia"[MeSH Terms] OR "hemiplegia"[All Fields])) AND "electrical stimulation"[All Fields] AND ((("gait"[MeSH Terms] OR "gait"[All Fields]) OR ("walking"[MeSH Terms] OR "walking"[All Fields] OR "walk"[All Fields]))
```

Search URL

#### Result:

380

#### Translations:

stroke	"stroke"[MeSH Terms] OR "stroke"[All Fields]
hemiplegia	"hemiplegia"[MeSH Terms] OR "hemiplegia"[All Fields]
gait	"gait"[MeSH Terms] OR "gait"[All Fields]
walk	"walking"[MeSH Terms] OR "walking"[All Fields] OR "walk"[All Fields]

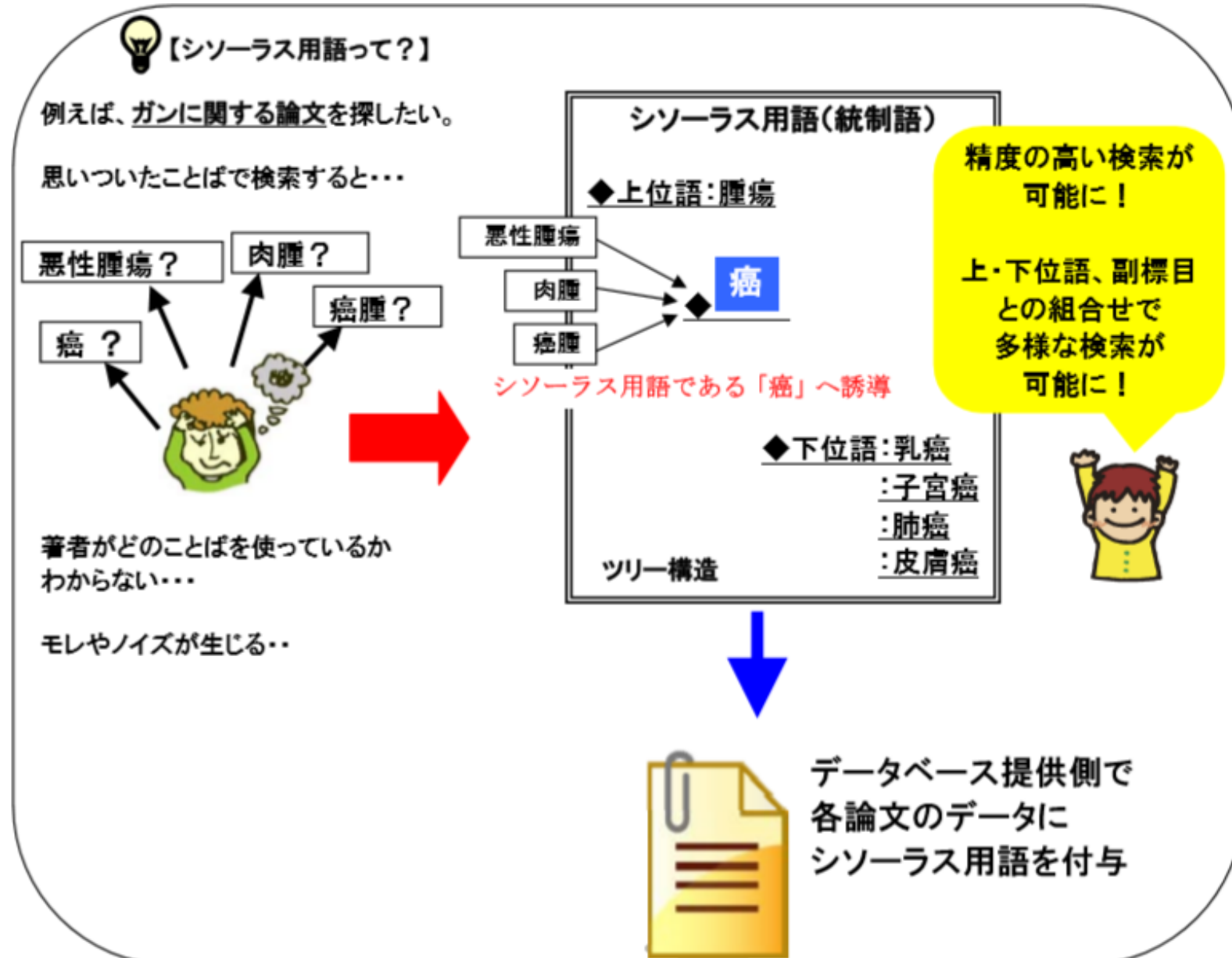
#### Database:

PubMed

#### User query:

(stroke OR "cerebrovascular disease" OR hemiplegia) AND ("electrical stimulation" ) AND (gait OR walk)

# MeSHとは



# MeSHの検索

PubMed "physical therapy" Search

Recent  
MeSH  
PubMed  
PMC

All  
All Databases  
Assembly  
Biocollections  
BioProject

Limits Advanced

Send to: PubMed Search Builder



NCBI Resources How To ptahodo0723@gmail.com My NCBI Sign Out

MeSH MeSH "physical therapy" Search

Create alert Limits Advanced Help

Summary 20 per page

### Search results

Items: 12

- [Physical Therapy Specialty](#)  
1. The auxiliary health profession by which PHYSICAL THERAPISTS make use of **PHYSICAL THERAPY** MODALITIES to prevent, correct, and alleviate movement dysfunction of anatomic or physiological origin.  
Year introduced: 2012 (1963)
- [Physical Therapy Modalities](#)  
2. Therapeutic modalities frequently used in **PHYSICAL THERAPY** SPECIALTY by PHYSICAL THERAPISTS or physiotherapists to promote, maintain, or restore the physical and physiological well-being of an individual.  
Year introduced: 2006 (2002)
- [Physical Therapy Department, Hospital](#)  
3. Hospital department which is responsible for the administration and provision of diagnostic and medical rehabilitation services to restore or improve the functional capacity of the patient.  
Year introduced: 1991(Aug 1977)

Send to: PubMed Search Builder

Add to search builder AND Search PubMed

YouTube Tutorial

Find related data  
Database: Select Find items

Search details  
"physical therapy"[All Fields]

Physical therapyでの検索語は12件もあり、漏れなく検索したいときは有用であるが、特定の論文を見つけることには不向き



# All Fieldsとは

- 全範囲から検索するという意味→論文数が多くなってしまふ

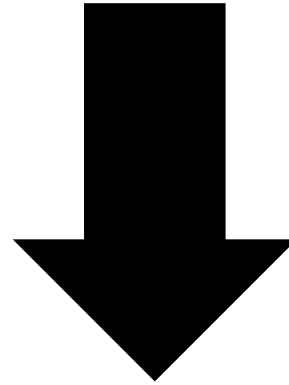
Title Abstract Introduction Data and Methods Results Discussion  
Conclusion(s)/summary

- Title/Abstractから検索すれば重要な論文を検出可能に！

[tiab] タグ

## [tiab] タグを使用した検索式に変更

(stroke OR “cerebrovascular disease” OR hemiplegia) AND  
( “electrical stimulation” ) AND (gait OR walk)



(stroke[tiab] OR “cerebrovascular disease” [tiab] OR  
hemiplegia[tiab]) AND ( “electrical stimulation” [tiab] ) AND (gait  
OR walk[tiab])

Click here to try the **New PubMed!**

An updated version of PubMed is now available. Come see the new improvements to the interface!

Article types

- Clinical Trial
- Review
- Customize ...

Text availability

- Abstract
- Free full text
- Full text

Publication dates

- 5 years
- 10 years
- Custom range...

Species

- Humans
- Other Animals

[Clear all](#)

[Show additional filters](#)

Format: Summary Sort by: Most Recent Per page: 20

Send to Filters: [Manage Filters](#)

Sort by:

- Best match
- Most recent

Best matches for (stroke[tiab] OR "cerebrovascular disease"[tiab] OR hemiplegia[tiab]) AND ("electrical stimulation"[tiab]) AND (gait OR walk[tiab]):

[Muscle strengthening for hemiparesis after stroke: A meta-analysis.](#)

Wist S et al. Ann Phys Rehabil Med. (2016)

[Electromechanical-assisted training for walking after stroke.](#)

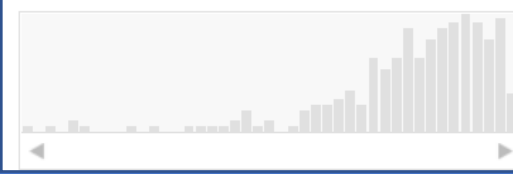
Mehrholz J et al. Cochrane Database Syst Rev. (2017)

[A Randomized Clinical Trial of a Functional Electrical Stimulation Mimic to Gait Promotes Motor Recovery and Brain Remodeling in Acute Stroke.](#)

Zheng X et al. Behav Neurol. (2018)

Switch to our new best match sort order

Results by year



Download CSV

Titles with your search terms

Surplus value of implanted peroneal functional **electrical stimulation** over ε [Gait Posture. 2019]

Effect of afferent **electrical stimulation** with mirror therapy on [Eur J Phys Rehabil Med. 2019]

Recumbent cycling with integrated volitional control **electrical stimula** [J Exerc Rehabil. 2019]

See more...

Search results

Items: 1 to 20 of 278

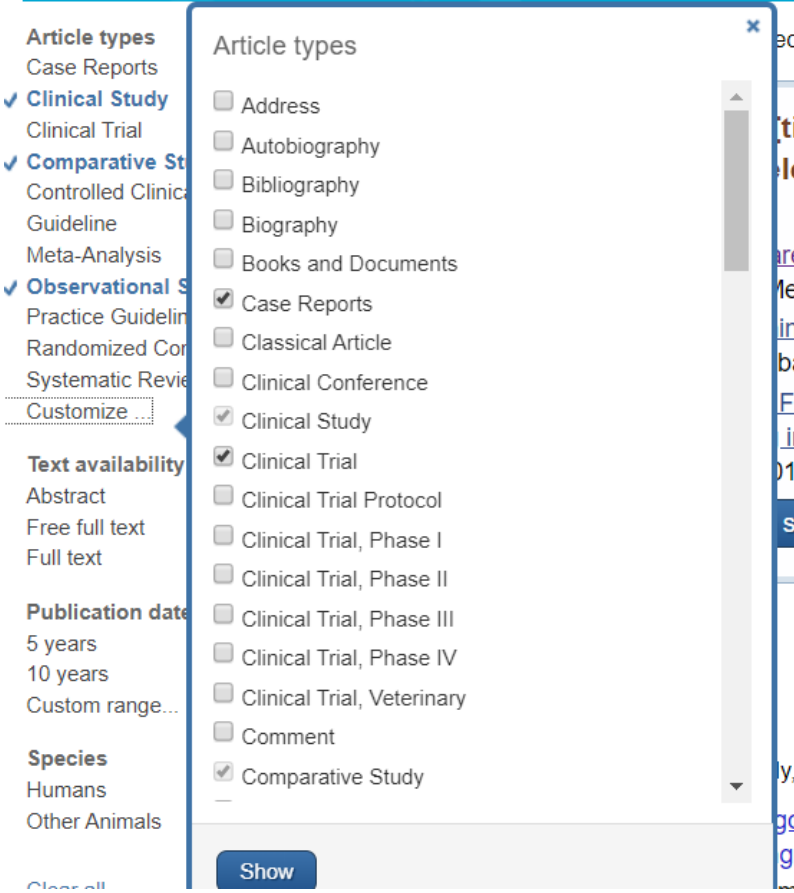
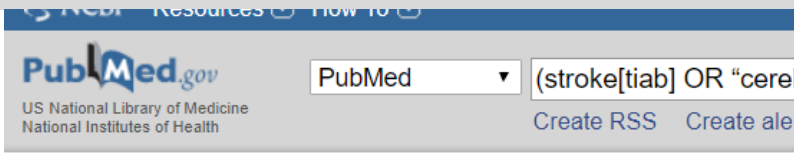
<< First < Prev Page 1 of 14 Next > Last >>

[Adaptive multichannel FES neuroprosthesis with learning control and automatic gait assessment.](#)

- Müller P, Del Ama AJ, Moreno JC, Schauer T. J Neuroeng Rehabil. 2020 Feb 28;17(1):36. doi: 10.1186/s12984-020-0640-7. PMID: 32111245

文献数の推移がわかる

# 記事タイプで絞る



GuidelineとPractice Guidelineに絞る

⇒1件

システマティックレビューとメタアナリシスに絞る

右21件

RCT(ランダム化比較対照試験)に絞る

⇒47件

RCT+Controlled Clinical Trial+Clinical Trialに絞る

⇒65件

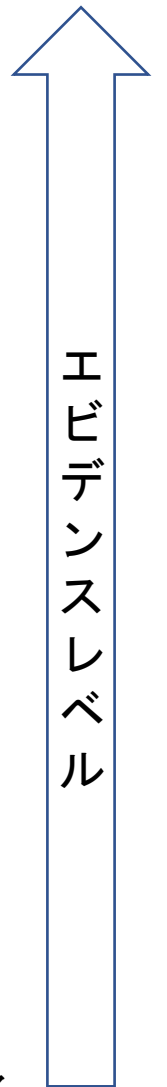
Case Reportsに絞る

⇒25件

Clinical Study+Observational Study+Comparative Studyに絞る

⇒74件

高



エビデンスレベル

低

# ここ5年に絞る (システムティックレビュー・メタアナリシス)

- Article types
- Case Reports
  - Clinical Study
  - Clinical Trial
  - Comparative Study
  - Controlled Clinical Trial
  - Guideline
  - ✓ **Meta-Analysis**
  - Observational Study
  - Practice Guideline
  - Randomized Controlled Trial
  - ✓ **Systematic Reviews**
  - Customize ...
- Text availability
- Abstract
  - Free full text
  - Full text

- Publication dates
- ✓ **5 years**
  - 10 years
  - Custom range...
- Species
- Humans
  - Other Animals
- [Clear all](#)
- [Show additional filters](#)

clear **Format:** Summary ▾ **Sort by:** Most Recent ▾ **Per page:** 20 ▾

Send to ▾ **Filters:** [Manage Filters](#)

**Best matches for (stroke[tiab] OR "cerebrovascular disease"[tiab] OR hemiplegia[tiab]) AND ("electrical stimulation"[tiab] ) AND (gait OR walk[tiab]):**

- [Muscle strengthening for hemiparesis after stroke: A meta-analysis.](#)  
Wist S et al. Ann Phys Rehabil Med. (2016)
- [Electromechanical-assisted training for walking after stroke.](#)  
Mehrzol J et al. Cochrane Database Syst Rev. (2017)
- [A Randomized Clinical Trial of a Functional Electrical Stimulation Mimic to Gait Promotes Motor Recovery and Brain Remodeling in Acute Stroke.](#)  
Zheng X et al. Behav Neurol. (2018)

[Switch to our new best match sort order](#)

Sort by:

[Best match](#) [Most recent](#)

- Titles with your search terms**
- Effects of dorsiflexor functional **electrical stimulation** compared to [J Phys Ther Sci. 2019]
  - Effect of cycling and functional **electrical stimulation** with linear an [Disabil Rehabil. 2019]
  - Concurrent impact of bilateral multiple joint functional **electri** [Physiother Theory Pract. 2019]
- [See more...](#)

## Search results

Items: 11

**i** Filters activated: Meta-Analysis, Systematic Reviews, published in the last 5 years. [Clear all](#) to show 278 items.

- [The effect of rehabilitation interventions on physical function and immobility-related complications in severe stroke: a systematic review.](#)  
1. [severe stroke: a systematic review.](#)  
McGlinchey MP, James J, McKeivitt C, Douiri A, Sackley C.  
BMJ Open. 2020 Feb 5;10(2):e033642. doi: 10.1136/bmjopen-2019-033642.  
PMID: 32029489 **Free Article**  
[Similar articles](#)
- [The effects of cycling with and without functional electrical stimulation on lower limb dysfunction in patients post-stroke: A systematic review with meta-analysis.](#)  
2. [patients post-stroke: A systematic review with meta-analysis.](#)  
Shariat A, Najafabadi MG, Ansari NN, Cleland JA, Singh MAF, Memari AH, Honarpishe R, Hakakzadeh A, Ghaffari MS, Naghdi S.  
NeuroRehabilitation. 2019;44(3):389-412. doi: 10.3233/NRE-182671.  
PMID: 31227660  
[Similar articles](#)

**Find related data**

Database:

[Find items](#)

**Search details**

```
(stroke[tiab] OR "cerebrovascular disease"[tiab] OR hemiplegia[tiab]) AND "electrical stimulation"[tiab] AND ((gait[MeSH Terms] OR gait[All Fields]) OR walk[tiab]) AND ((Meta-...
```

[Search](#) [See more...](#)

**Recent Activity**

[Turn Off](#) [Clear](#)

(stroke[tiab] OR "cerebrovascular disease"[tiab] OR hemiplegia[tiab]) (11) PubMed

11件

# 脳卒中後の下肢機能障害に対するサイクリング単独と機能的電気刺激サイクリングの効果：メタ分析による系統的レビュー

Format: Abstract ▾

Send to ▾

[NeuroRehabilitation](#). 2019;44(3):389-412. doi: 10.3233/NRE-182671.

## The effects of cycling with and without functional electrical stimulation on lower limb dysfunction in patients post-stroke: A systematic review with meta-analysis.

[Shariat A](#)<sup>1</sup>, [Najafabadi MG](#)<sup>2</sup>, [Ansari NN](#)<sup>1,3</sup>, [Cleland JA](#)<sup>4</sup>, [Singh MAF](#)<sup>5,6</sup>, [Memari AH](#)<sup>1</sup>, [Honarpishe R](#)<sup>3</sup>, [Hakakzadeh A](#)<sup>1</sup>, [Ghaffari MS](#)<sup>1</sup>, [Naghdi S](#)<sup>1,3</sup>.

[+ Author information](#)

### Abstract

**BACKGROUND:** One of the leading causes of disability in the world with enormous economic burden is stroke.

**OBJECTIVE:** To quantify the effectiveness of different protocols of cycling with/without functional electrical stimulation on functional mobility after stroke.

**METHODS:** Multiple databases were searched till 2018. Data extraction was performed using a pre-determined data collection form. The quality of the evidence was evaluated using the Grading of Recommendations Assessment, Development and Evaluation.

**RESULTS:** A total of 14 trials satisfied eligibility criteria and were included. Cycling had a positive effect on the 6-meter walking test performance (SMD, 0.41; 95% CI, 0.11 -0.71; I2=0% ) compared with no or placebo intervention (control). Compared with control, cycling had a positive effect on 10-meter walking speed (SMD, 0.30; 95% CI, 0.05 -0.55; I2=0% ), and on balance based on the Berg score (SMD, 0.32; 95% CI, 0.06 -0.57; I2=49% ). Cycling with functional electrical stimulation had a positive effect on balance (SMD, 1.48; 95% CI, 0.99 -1.97; I2=91% ) compared with cycling alone.

**CONCLUSIONS:** It appears that cycling has a positive effect on walking speed, walking ability and balance. Functional electrical stimulation combined with cycling has positive effects on balance beyond cycling alone.

**KEYWORDS:** Meta-analysis; cycling; disability; functional electrical stimulation; lower limb; stroke

### Full text links



### Save items

★ Add to Favorites ▾

### Similar articles

Effectiveness of Neuromuscular Electrical Stimulation on Lo [Arch Phys Med Rehabil. 2018]

Effects of mirror therapy on walking ability, balance and lower limb motor [Clin Rehabil. 2018]

**Review** Influence of transcutaneous electrical nerve stimulation on spasti [J Rehabil Med. 2018]

**Review** Mirror therapy for improving lower limb motor function and mobility a [Gait Posture. 2018]

**Review** Effectiveness of upper limb functional electrical stimulation after stroke [Syst Rev. 2017]

[See reviews...](#)

[See all...](#)

# 検索語をタイトルに含んでいる論文の抽出

Article types: Case Reports, Clinical Study, Clinical Trial, Comparative Study, Controlled Clinical Trial, Guideline, **Meta-Analysis**, Observational Study, Practice Guideline, Randomized Controlled Trial, **Systematic Reviews**, Customize ...

Text availability: Abstract, Free full text, Full text

clear **Format:** Summary ▾ **Sort by:** Most Recent ▾ **Per page:** 20 ▾ **Send to** ▾ **Filters:** [Manage Filters](#)

**Best matches for (stroke[tiab] OR "cerebrovascular disease"[tiab] OR hemiplegia[tiab]) AND ("electrical stimulation"[tiab] ) AND (gait OR walk[tiab]):**

- [Muscle strengthening for hemiparesis after stroke: A meta-analysis.](#)  
Wist S et al. Ann Phys Rehabil Med. (2016)
- [Electromechanical-assisted training for walking after stroke.](#)  
Mehrholtz J et al. Cochrane Database Syst Rev. (2017)
- [A Randomized Clinical Trial of a Functional Electrical Stimulation Mimic to Gait Promotes Motor Recovery and Brain Remodeling in Acute Stroke.](#)  
Zheng X et al. Behav Neurol. (2018)

[Switch to our new best match sort order](#)

**Sort by:** [Best match](#) [Most recent](#)

**Titles with your search terms**

- Effects of dorsiflexor functional **electrical stimulation** compared to [J Phys Ther Sci. 2019]
- Effect of cycling and functional **electrical stimulation** with linear an [Disabil Rehabil. 2019]
- Concurrent impact of bilateral multiple joint functional **electri** [Physiother Theory Pract. 2019]

See more...

**Format:** Abstract ▾ **Send to** ▾

J Phys Ther Sci. 2019 Nov;31(11):865-868. doi: 10.1589/jpts.31.865. Epub 2019 Nov 26.

## Effects of dorsiflexor functional electrical stimulation compared to an ankle/foot orthosis on stroke-related genu recurvatum gait.

Bae DY<sup>1</sup>, Shin JH<sup>1</sup>, Kim JS<sup>1</sup>.

**Author information**

**Abstract**

[Purpose] We evaluated the effects of functional electrical stimulation (FES) and an ankle/foot orthosis (AFO) in hemiplegic patients exhibiting excessive plantar flexion during the stance phase, associated with genu recurvatum. [Participants and Methods] In total, 12 stroke patients were recruited. We measured changes in knee and ankle joint angles, gait speed, and step and stride length during the gait cycle during barefoot walking, walking while wearing an AFO, and walking after FES application; we used a three dimensional gait analysis system. [Results] In terms of kinematic variables, FES walking was associated with significant increases in peak ankle dorsiflexion during swing, dorsiflexion angle at initial contact, peak ankle dorsiflexion during stance, knee angle at initial contact, and peak knee flexion in the loading response compared to AFO and barefoot walking. AFO walking was associated with a significant difference in peak ankle dorsiflexion during swing compared to barefoot walking. [Conclusion] FES afforded kinematic advantages to the ankle and knee joints compared to AFO in hemiplegic patients with a genu recurvatum gait.

2019©by the Society of Physical Therapy Science. Published by IPEC Inc.

**KEYWORDS:** Ankle/foot orthosis; Functional electrical stimulation; Genu recurvatum

PMID: 31871367 PMCID: [PMC6879415](#) DOI: [10.1589/jpts.31.865](#)

[Free PMC Article](#)

**Full text links**

J-STAGE **PMC** FREE Full text

**Save items**

★ Add to Favorites ▾

**Similar articles**

- Kinematic and kinetic benefits of implantable peroneal nerve sti [Restor Neurol Neurosci. 2018]
- Control of Stroke-Related Genu Recurvatum With Prolonged Timing [J Neurol Phys Ther. 2016]
- Effects of a knee-ankle-foot orthosis on gait biomechanical cl [Clin Biomech (Bristol, Avon). ...]
- Review** Novel patterns of functional electrical stimulation have an immediate [Phys Ther. 2010]
- Review** Contributions to the understanding of gait control. [Dan Med J. 2014]

See reviews... See all...

# Google Scholarとの合わせ技

lm.nih.gov/pubmed/31871367

NCBI Resources How To

PubMed.gov PubMed Advanced

Click here to try the **New PubMed!**  
An updated version of PubMed is now available. Come see the new improvements to the interface.

Format: Abstract ▾

[Phys Ther Sci](#). 2019 Nov;31(11):865-868. doi: 10.1589/jpts.31.865. Epub 2019 Nov 26.

## Effects of dorsiflexor functional electrical stimulation compared to an ankle/foot orthosis on stroke-related genu recurvatum gait.

Bae DY<sup>1</sup>, Shin JH<sup>1</sup>, Kim JS<sup>1</sup>.

**Author information**

### Abstract

**Purpose]** We evaluated the effects of functional electrical stimulation (FES) and an ankle/foot orthosis (AFO) in hemiplegic patients exhibiting excessive plantar flexion during the stance phase, associated with genu recurvatum. **[Participants and Methods]** In total, 12 stroke patients were recruited. We measured changes in knee and ankle joint angles, gait speed, and step and stride length during the gait cycle during barefoot walking, walking while wearing an AFO, and walking after FES application; we used a three dimensional gait analysis system. **Results]** In terms of kinematic variables, FES walking was associated with significant increases in peak ankle dorsiflexion during swing, peak ankle dorsiflexion angle at initial contact, peak ankle dorsiflexion during stance, knee angle at initial contact, and peak knee flexion in the loading response compared to AFO and barefoot walking. AFO walking was associated with a significant difference in peak ankle dorsiflexion during swing compared to barefoot walking. **[Conclusion]** FES afforded kinematic advantages to the ankle and knee joints compared to AFO in hemiplegic patients with a genu recurvatum gait.

© 2019 by the Society of Physical Therapy Science. Published by IPEC Inc.

**KEYWORDS:** Ankle/foot orthosis; Functional electrical stimulation; Genu recurvatum

PID: 31871367 PMID: [PMC6879415](#) DOI: [10.1589/jpts.31.865](#)

Effects of dorsiflexor functional electrical stimulation compared to an ankle/foot orthosis on stroke-related genu recurvatum gait  
DY Bae, JH Shin, JS Kim - Journal of Physical Therapy Science, 2019  
[Purpose] We evaluated the effects of functional electrical stimulation (FES) and an ankle/foot orthosis (AFO) in hemiplegic patients exhibiting excessive plantar flexion during the stance phase, associated with genu recurvatum. [Participants and Methods] In total, 12 stroke patients were recruited. We measured changes in knee and ankle joint angles, gait speed, and step and stride length during the gait cycle during barefoot walking, walking while wearing an AFO, and walking after FES application; we used a three dimensional gait ...  
関連記事 全 4 バージョン  
[PDF] [jst.go.jp](#)

別の論文を検索するには、ページ上でタイトルを選択します。

### Similar articles

Kinematic and kinetic benefits of implantable peroneal nerve sti [Restor Neurol Neurosci. 2018]

Control of Stroke-Related Genu Recurvatum With Prolonged Timing [J Neurol Phys Ther. 2016]

Effects of a knee-ankle-foot orthosis on gait biomechanical cl [Clin Biomech (Bristol, Avon). ...]

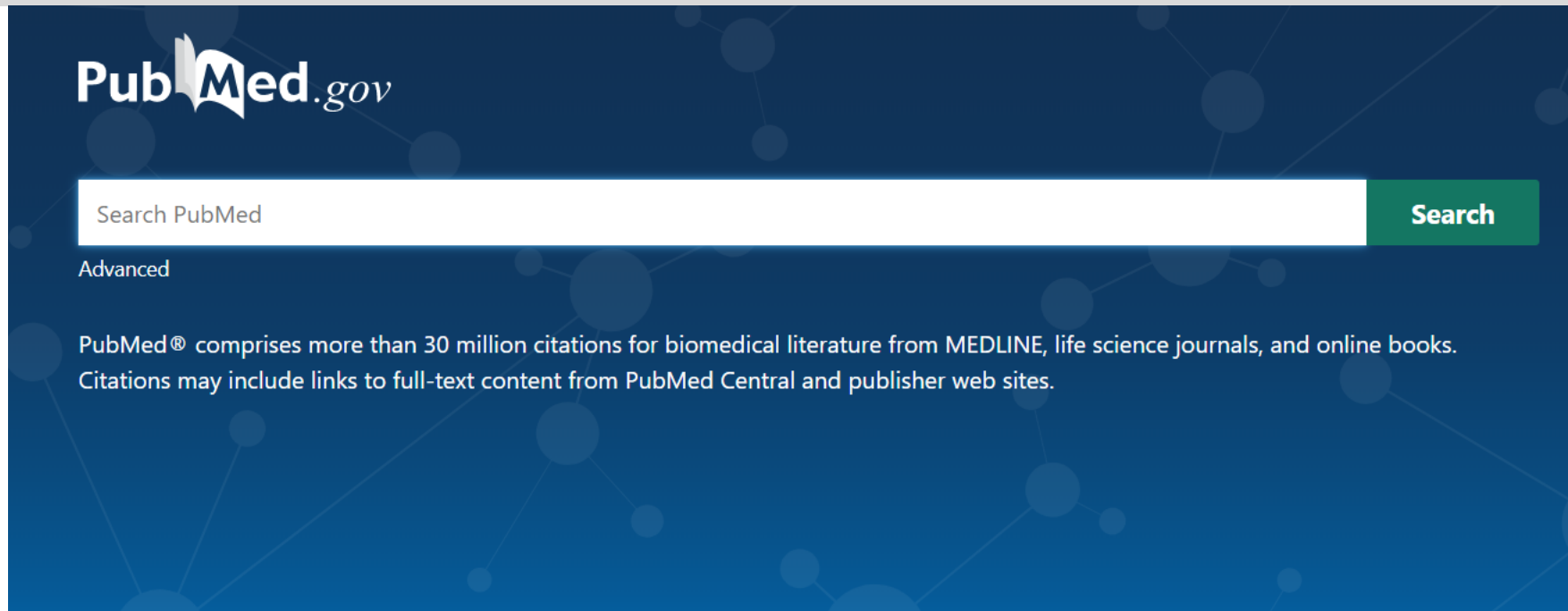
**Review** Novel patterns of functional electrical stimulation have an immediate [Phys Ther. 2010]

**Review** Contributions to the understanding of gait control. [Dan Med J. 2014]

See reviews...



# PubMed Clinical Queries



## Learn

About PubMed  
FAQs & User Guide  
Finding Full Text



## Find

Advanced Search  
**Clinical Queries**  
Single Citation Matcher



## Download

E-utilities API  
FTP  
Batch Citation Matcher



## Explore

MeSH Database  
Journals

「Clinical Queries」とは、主に臨床医学領域の文献検索における利用を想定した検索機能であり、研究デザインに着目したキーワードを自動的に付与して検索を行うことができます。

<http://jspt.japanpt.or.jp/ebpt/evidence/pubmed/03.html>

# PubMed Clinical Queries

## PubMed Clinical Queries

Results of searches on this page are limited to specific clinical research areas. For comprehensive searches, use [PubMed](#) directly.

(stroke[tiab] OR "cerebrovascular disease"[tiab] OR hemiplegia[tiab]) AND ("electrical stimulation"[tiab] ) AND (gait OR walk[tiab])

Search

臨床介入研究

### Clinical Study Categories

Category:

Scope:

システマティックレビュー

### Systematic Reviews

研究デザイン

感度 (Broad: 広く漏れなく・Narrow: 絞って)

遺伝学

### Medical Genetics

Topic:

#### Results: 5 of 110

Changes in leg cycling muscle synergies after training augmented by functional electrical stimulation in subacute stroke survivors: a pilot study.

Ambrosini E, Parati M, Peri E, De Marchis C, Nava C, Pedrocchi A, Ferriero G, Ferrante S.

J Neuroeng Rehabil. 2020 Feb 27; 17(1):35. Epub 2020 Feb 27.

The effect of rehabilitation interventions on physical function and immobility-related complications in severe stroke: a systematic review.

McGlinchey MP, James J, McKeivitt C, Douiri A, Sackley C. BMJ Open. 2020 Feb 5; 10(2):e033642. Epub 2020 Feb 5.

Electrical Stimulation in Lower Limb During Exercise to Improve Gait Speed and Functional Motor Ability 6 Months Poststroke. A Review with Meta-Analysis.

Busk H, Stausholm MB, Lykke L, Wienecke T. J Stroke Cerebrovasc Dis. 2020 Mar; 29(3):104565. Epub 2019 Dec 24.

Rationale and design of the therapeutic effects of peroneal nerve function electrical stimulation for lower extremity in patients with convalescent poststroke hemiplegia (RALLY) study: study protocol for a randomised controlled study.

Matsumoto S, Shimodozono M, Noma T. BMJ Open. 2019 Nov; 9(11):e026014. Epub 2019 Nov 05.

#### Results: 5 of 17

The effect of rehabilitation interventions on physical function and immobility-related complications in severe stroke: a systematic review.

McGlinchey MP, James J, McKeivitt C, Douiri A, Sackley C. BMJ Open. 2020 Feb 5; 10(2):e033642. Epub 2020 Feb 5.

The effects of cycling with and without functional electrical stimulation on lower limb dysfunction in patients post-stroke: A systematic review with meta-analysis.

Shariat A, Najafabadi MG, Ansari NN, Cleland JA, Singh MAF, Memari AH, Honarpishe R, Hakakzadeh A, Ghaffari MS, Naghdi S. NeuroRehabilitation. 2019; 44(3):389-412.

Effectiveness of Neuromuscular Electrical Stimulation on Lower Limbs of Patients With Hemiplegia After Chronic Stroke: A Systematic Review.

Hong Z, Sui M, Zhuang Z, Liu H, Zheng X, Cai C, Jin D. Arch Phys Med Rehabil. 2018 May; 99(5):1011-1022.e1. Epub 2018 Jan 31.

Electromechanical-assisted training for walking after stroke.

Mehrholz J, Thomas S, Werner C, Kugler J, Pohl M, Elsner B. Cochrane Database Syst Rev. 2017 May 10; 5:CD006185. Epub 2017 May 10.

#### Results: 1 of 1

Knock-in mouse model of alternating hemiplegia of childhood: behavioral and electrophysiologic characterization.

Hunanyan AS, Fainberg NA, Linabarger M, Arehart E, Leonard AS, Adil SM, Helseth AR, Swearingen AK, Forbes SL, Rodriguiz RM, et al. Epilepsia. 2015 Jan; 56(1):82-93. Epub 2014 Dec 19.

[See all \(1\)](#)

This column displays citations pertaining to topics in medical genetics. See more [filter information](#).

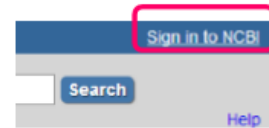
# アラート機能

## VII. My NCBI ~PubMed をカスタマイズして使う

NCBIで提供しているデータベース各種(そのうちの 하나가 PubMed)を、ユーザーの使用方法に合わせてカスタマイズできるツールです。

<主な機能>

- ① 検索結果、検索式の保存。
- ② 保存した検索式の検索結果を定期的にメールで受け取る。
- ③ PubMed の各種設定の変更。<Filter・検索結果の初期画面>
- ④ 検索結果の長期保存・公開。



### 1) 初期登録

画面右上にある Sign in to NCBI をクリック。Sign in の画面に移ります。

Google等のアカウントを持っていれば MyNCBIで使うこともできます

Sign in with Google NIH Login Commons

See more 3rd party sign in options

OR

Sign in directly to NCBI

NCBI Username

Password

Keep me signed in

Sign In

Forgot NCBI username or password?

Register for an NCBI account

Register for an NCBI Account

Skip registration by using a 3rd party sign in option

required information

Select a username and password

Username \*

Password \*

Repeat password \*

Contact information

Email \*

In case you forget your password

Please provide a question and answer that you can use to unlock your account

Question

Answer \*

Please type the following characters: TMDD4

アカウントを登録します

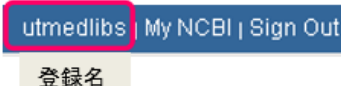
Create account

Sign in with an existing account

アカウント登録後、設定したメールアドレスに確認メールが届きます。  
メールに表示されたURLをクリックすると登録完了です

### 2) サインイン

画面右上にある Sign in をクリック。登録したユーザー名、パスワードでログインすると、右上の表示に、登録名が表示されます。



# アラート機能

## 3) 検索式の保存とメール送信設定

The screenshot shows the PubMed search results page for the query "parkinson disease". The search bar at the top contains "parkinson disease" and the "Create alert" button is highlighted with a red box. A red arrow points from this button to the "My NCBI" alert configuration page on the right. The search results list includes articles such as "Involvement of Gaucher Disease Mutations in Parkinson's Disease" and "Parkinson Disease: 2015 Update on Parkinson disease".

The screenshot shows the "My NCBI" alert configuration page. The search terms are "parkinson disease". The "Name of saved search" is "parkinson disease". The "Would you like e-mail updates of new search results?" section has the "Yes, please" radio button selected. The "Schedule" section shows a frequency of "Monthly" and "Which day?" set to "the first Sunday". The "Formats" section shows a report format of "Summary". The "Number of items" section shows "Send at most" set to "5 items". The "Any text you want to be added at the top of your e-mail (optional)" section is empty. The "Save" button is highlighted.

# アラート機能



東京大学 医学図書館  
Medical Library  
The University of Tokyo

## 4) 検索レコードの保存

恒常的に保存したいレコードにチェックをつけます。

Send to メニューから Collections を選択し、保存します。

The screenshot shows a sequence of three windows illustrating the process of saving search results:

- Search Results:** Two search results are shown with checkboxes selected. The first is "Clinical features of Parkinson disease with case-control study" and the second is "Deciphering the Impact of Cerebellar and Variability of Motor Timing".
- Send to Menu:** A "Send to" menu is open, with "Collections" circled in red. Below the menu, the text "Add 2 items" and a button "Add to Collections" are also circled in red.
- Destination Selection:** A dialog box titled "2 items from PubMed What would you like to do?" is shown. It has two radio buttons: "Create new collection" and "Append to an existing". The "Append to an existing" option is selected, and a text box next to it says "いずれかを選択". Below this, there is a dropdown menu labeled "Choose a collection:" with "Collections" selected. A "Save" button is circled in red at the bottom.

## 5) 確認・各種変更

保存したデータの確認、各種設定変更は、My NCBI Home から行うことができます。

フィルター項目も各自で変更できます

## 6) サインアウト

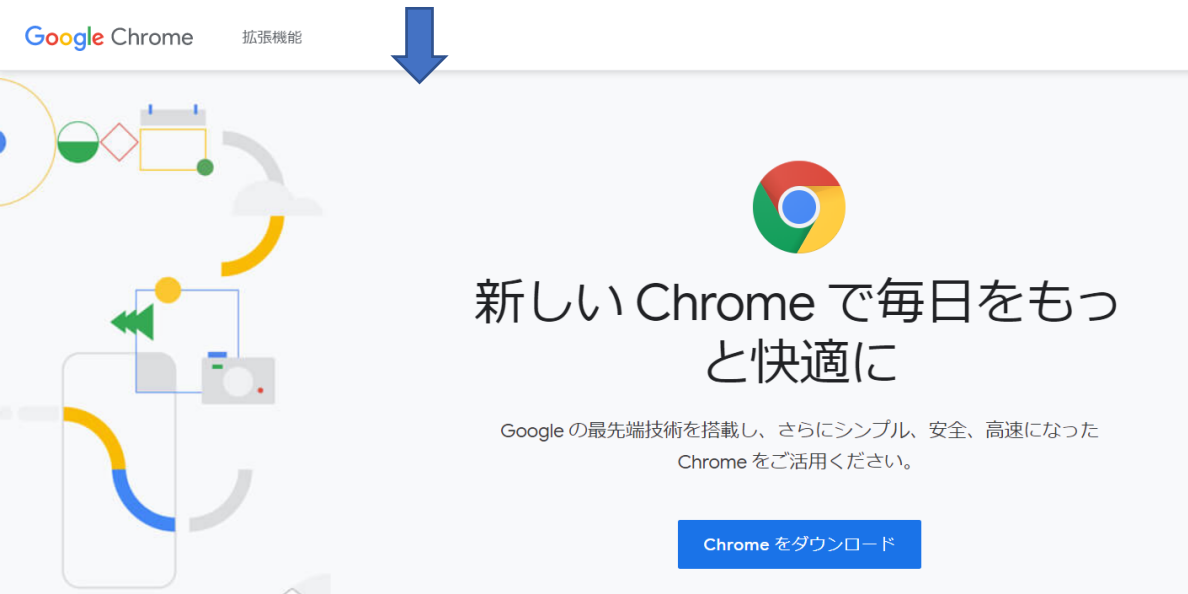
右上 Sign Out をクリックして終了します。



The screenshot shows the My NCBI Home page with the title "クリックして確認・変更". The page includes sections for "Search NCBI databases", "Saved Searches", "Recent Activity", and "Collections".

# 手順

## Google chromeで検索



chrome ウェブストア



インストール後にストアでアドインを検索して追加

# アドイン

Google scholar



文献検索エンジン

Google翻訳



翻訳ツール

Mouse Dictionary



翻訳ツール

(stroke[tiab] OR "cerebrovascular disease"[tiab] OR hemiplegia[tiab]) AND ("electrical stimulation"[tiab] OR "gait training"[tiab])

Search

Advanced Create alert

User Guide

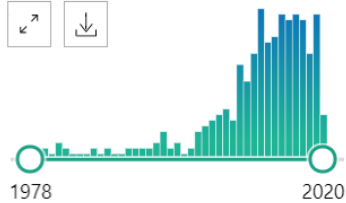
Save Email ...

Sorted by: Best match

MYNCBI FILTERS

278 results

RESULTS BY YEAR



TEXT AVAILABILITY

- Abstract
- Free full text

**Muscle strengthening for hemiparesis after stroke: A meta-analysis.**  
1 Wist S, et al. Ann Phys Rehabil Med 2016 - Review. PMID 26969343 Free article.  
INTRODUCTION: Muscle weakness is a common consequence of **stroke** and can result in a decrease in physical activity. Changes in **gait** performance can be observed, especially a reduction in **gait** speed, and increased **gait** asymmetry, and energy cost is also reported. ...RESULTS: Ten studies, including 355 patients, reporting on the subject of progressive resistance training, specific task training, functional **electrical stimulation** and aerobic cycling at high-intensity were analysed. ...

Cite Share

**Electromechanical-assisted training for walking after stroke: A meta-analysis.**  
2 Mehrholz J, et al. Cochrane Database Syst Rev 2017 - Review. PMID 28488268 Free article.  
BACKGROUND: Electromechanical- and robotic-assisted **gait** training is a promising approach to improve walking after stroke. ...

(stroke[tiab] OR "cerebrovascular disease"[tiab] OR hemiplegia[tiab]) AND ("electrical stimulation"[tiab] OR "gait training"[tiab])

探す

高度な アラート作成

ユーザーガイド

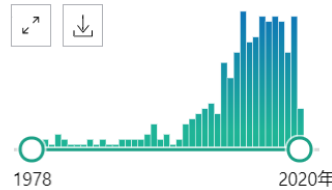
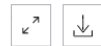
セーブ Eメール ...

並べ替え: ベストマッチ

MYNCBI フィルター

278の結果

年ごとの結果



テキストの入手可能性

- 概要
- 全文無料
- 全文

**脳卒中後の片側不全麻痺に対する筋力強化：メタ分析。**  
1 Wist S, et al. アン・フィス・リハビリ・メッド2016- レビュー。 PMID 26969343 無料記事。  
はじめに：筋力低下は**脳卒中**の一般的な結果であり、身体活動の低下をもたらす可能性があります。歩行パフォーマンスの変化、特に歩行速度の低下、歩行の非対称性の増加、エネルギーコストも報告されています。...結果：355人の患者を含む10の研究が、進行性レジスタンストレーニング、特定のタスクトレーニング、機能的電気刺激、および高強度での酸素サイクリングのテーマについて報告しました。...

引用 共有

**脳卒中後の歩行のための電気機械支援トレーニング。**  
2 Mehrholz J, 他 Cochrane Database Syst Rev 2017- レビュー。 PMID 28488268 無料のPMC記事。  
背景：電気機械およびロボット支援歩行訓練デバイスはリハビリテーションで使用され、**脳卒中**後の歩行の改善に役立つ可能性があります。...具体的には、**脳卒中**後の最初の3ヶ月の人々と歩くことができな



# Google翻訳

medicaljournals.se/jrm/content/abstract/10.2340/16501977-2289

Home About Editors For Authors/Reviewers Online Content Meetings/Congresses Contact us Submit a manuscript

Search... Title

Content » Vol 50, Issue 2

Review article

0 Share Tweet

HTML PDF

Functional electrical stimulation and ankle foot orthoses provide equivalent therapeutic effects on foot drop: A meta-analysis providing direction for future research

Sarah Prenton, Kristen L. Hollands, Laurence P.J. Kenney, Pornsuee Onmanee  
School of Human and Health Sciences, University of Huddersfield, HD1 3DH Huddersfield, United Kingdom. E-mail: s.prenton@hud.ac.uk  
DOI: 10.2340/16501977-2289

Abstract

Objective: To compare the randomized controlled trial evidence for therapeutic effects on walking of functional electrical stimulation and ankle foot orthoses for foot drop caused by

ページのURLをコピー

Google翻訳

テキスト ドキュメント

言語を検出する 英語 日本語 韓国語

日本語 英語 韓国語

https://www.medicaljournals.se/jrm/content/abstract/10.2340/16501977-2289

https://www.medicaljournals.se/jrm/content/abstract/10.2340/16501977-2289

73/5000

フィードバックを送信

Google翻訳にペースト

翻訳されたURLをクリック

## 1文ずつ翻訳結果と原文を比較しながら閲覧



https://www.medicaljournals.se/jrm/content/abstract/10.2340/16501977-2289



翻訳

元の言語:

英語

翻訳する言語:

日本語

表示:

翻訳

原文



コンテンツ » Vol 50、 Issue 2

総説

0

Share



ツイート

HTML

PDF

## 機能的な電気刺激と足首の足の装具は、足の落下に対する同等の治療効果を提供します：将来の研究の方向性を提供するメタ分析

サラ・プレントン、  
英国ハダースフィールド

英語の原文テキスト:

DOI : 10.2340 / 16501977-2289

Objective: To compare the randomized controlled trial evidence for therapeutic effects on walking of functional electrical stimulation and ankle foot orthoses for foot drop caused by central nervous system conditions.

概要

翻訳を改善する

目的：中枢神経系の状態に起因する足の低下に対する機能的電気刺激と足首足部装具の歩行に対する治療効果に関するランダム化比較試験の証拠を比較する。

データソース：MEDLINE、CINAHL、Cochrane Central Register of Controlled Trials、REHABDATA、PEDro、NIHR Center for Reviews and Dissemination、Scopus、clinicaltrials.gov

研究の選択：1人のレビュアーがタイトル/要約を選別しました。その後、2人の独立したレビュアーが記事全体を審査しました。

データ抽出：1人のレビュアーがデータを抽出し、別のレビュアーが正確さのために選別されました。バイアスのリスクは、コクランバイアスツールを使用して2人の独立したレビュアーによって評価されました。

データ統合：8つの論文が対象でした。脳卒中の参加者が関与する7人と脳性麻痺の参加者が関与する1人。同じ試験からの異なる測定値を報告する2つの教皇をグループ化し、7つの

# Mouse Dictionary

Qiita

コミュニティ

キーワードを入力

ユーザ登録

ログイン

4085



57



@wtetsu 2019年12月31日に更新

## Chrome拡張の高速な英語辞書ツールをつくりました(Mouse Dictionary)

JavaScript Chrome chrome-extension English

### Mouse Dictionary

Chrome拡張の高速な英語辞書ツールです。

ダウンロード:

- [Chrome版](#)
- [Firefox版](#) (設定変更未サポート)

とりわけ、ブラウザでよく技術文書を読む人(含自分)に最適かと思いますが、どなたでもご活用いただけます。



Google Nest Mini が 2,000円引き。新しいアイテムで、新生活を咲かせよう。

今すぐ購入

送料無料

Mouse Dictionary

特徴

経緯

ソースコード

使い方

untrusted | Java Core Libraries

The Java Logging APIs do not provide any direct support for unique message IDs. Those applications or subsystems requiring unique message IDs should define their own conventions and include the unique IDs in the message strings as appropriate.

ここに入力して検索

18:49  
2020/03/04

# Mouse Dictionary

## PDF.jsのデモページを利用

(引用。私のツイートではありません)

Mouse Dictionaryでpdfを読む方法について書いた<https://t.co/V0uJFFHXe>  
— 折登 いつき (@MatchaChoco010) October 8, 2018

## Google Document

(私のツイート)

はじめまして。Mouse Dictionaryは直接PDF上の文書に使うことはできないので、いったんなんらかの方法でHTML的なものに変換する必要があります。たとえばここにある方法で、PDFファイルをGoogleドキュメントとして開けば、問題なく利用することができます。<https://t.co/wK43KiogLl>  
— Tetsu (@wtetsu) October 3, 2018

## Dropbox

DropboxにPDFファイルを入れてWeb経由で開く。



今なら、**Google Nest Mini** が 2,000円引き。  
新しいアイテムで、新生活を咲かせよう。  
今すぐ購入  
送料無料

Mouse Dictionary

特徴

経緯

ソースコード

使い方

インストール

辞書データの作成

英辞郎

起動ショートカットキーの設定(追記)

PDFでの利用(追記)

PDF.js + ローカルHTTPサーバ

PDF.jsのデモページを利用

Google Document

Dropbox

日英データや英英データ

その他

Kaggleで動かさない

表示をカスタマイズしたい

リンク

4085



57



# Mouse Dictionary

2018年10月08日

## Mouse Dictionaryでpdfを読む

### はじめに

Mouse Dictionaryという素晴らしいChrome拡張機能があります。しかしこの拡張機能はブラウザで開いたpdfファイルには対応していませんでした。試行錯誤した結果、pdfファイルをMouse Dictionaryに反応させる方法を見つけたのでメモします。



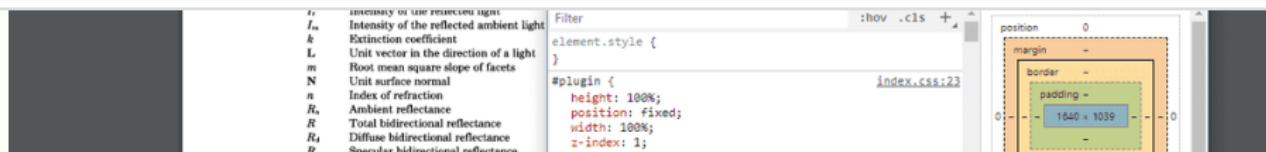
### INTRODUCTION

The rendering of realistic images in computer graphics requires that objects reflect light. The reflectance model must account for the spatial distribution of the reflected light. The most important aspects of image synthesis, such as the surface geometry and hidden surface algorithm.

Most real surfaces are neither ideal specular (mirror-like) nor ideal diffuse (Lambertian) reflectors. Phong [14, 15] proposed a model for computer graphics that was a linear combination of the two. The specular component was spread out around the normal using a cosine function raised to a power. Subsequently, Blinn [16] combined this together with a specular reflection model from [17] to produce specular peaks that occur when the incident light

This paper is a revision of a paper that appeared in *Computer Graphics*. This work was supported in part by the National Science Foundation. Authors' addresses: R. L. Cook, Lucasfilm Ltd., P.O. Box 2009, Sibley School of Mechanical and Aerospace Engineering, Cornell University, Ithaca, NY 14853. Permission to copy without fee all or part of this material is granted, provided that the copyright notice and the ACM publication and its date appear, and notice is given that copy is for Computing Machinery. To copy otherwise, or to reprint, requires permission.

# Mouse Dictionary



## PDF.jsと組み合わせる

pdfをブラウザ技術で表示する[PDF.js](#)というものがあります。これを組み合わせるとMouse Dictionaryでもpdfに反応してくれるようになりました。

PDF.jsはFirefoxでのpdfの表示に使われているそうです。Firefoxの場合はなんの問題もなくMouse Dictionaryでpdfを読めるのかもしれませんが確認していません。

PDF.jsを自分で立ち上げるのはなかなか骨の折れる作業のようです。しかし、PDF.jsではpdfを開く機能が用意されているので、自分でPDF.jsの環境を作らなくても簡単に利用できます。[PDF.jsのデモページ](#)にアクセスし、ファイルを開くボタンから好きなpdfファイルを開きます。



# Trace-based Just-in-Time Type Specialization for Dynamic Languages

Andreas Gal<sup>\*+</sup>, Brendan Eich<sup>\*</sup>, Mike Shaver<sup>\*</sup>, David Anderson<sup>\*</sup>, David Mandelin<sup>\*</sup>,  
Mohammad R. Haghighat<sup>§</sup>, Blake Kaplan<sup>\*</sup>, Graydon Hoare<sup>\*</sup>, Boris Zbarsky<sup>\*</sup>, Jason Orendorff<sup>\*</sup>,  
Jesse Ruderman<sup>\*</sup>, Edwin Smith<sup>#</sup>, Rick Reitmaier<sup>#</sup>, Michael Bebenita<sup>+</sup>, Mason Chang<sup>+ #</sup>, Michael Franz<sup>+</sup>

Mozilla Corporation<sup>\*</sup>  
{gal, brendan, shaver, danderson, dmandelin, mrbkap, graydon, bz, jorendorff, jruderman}@mozilla.com

Adobe Corporation<sup>#</sup>  
{edwsmith, rreitmai}@adobe.com

Intel Corporation<sup>§</sup>  
{mohammad.r.haghighat}@intel.com

University of California, Irvine<sup>+</sup>  
{mbebenit, changm, franz}@uci.edu

## Abstract

Dynamic languages such as JavaScript are more difficult to compile than statically typed ones. Since no concrete type information is available, traditional compilers need to emit generic code that can handle all possible type combinations at runtime. We present an alternative compilation technique for dynamically-typed languages that identifies frequently executed loop traces at run-time and then generates machine code on the fly that is specialized for the actual dynamic types occurring on each path through the loop. Our

and is used for the application logic of browser-based productivity applications such as Google Mail, Google Docs and Zimbra Collaboration Suite. In this domain, in order to provide a fluid user experience and enable a new generation of applications, virtual machines must provide a low startup time and high performance.

Compilers for statically typed languages rely on type information to generate efficient machine code. In a dynamically typed programming language such as JavaScript, the types of expressions may vary at runtime. This means that the compiler can no longer easily transform operations into machine instructions that operate

### 1.3. Pathophysiology and risk factors:

The shoulder complex consists of four separate joints, which afford it incredible mobility in all planes of motion, but at the expense of its stability. The glenohumeral joint relies on the integrity of muscular and capsule-ligamentous structures rather than bony conformation for its stability. The shoulder stability depends on static and dynamic stabilizers. The static stabilizers are glenoid labrum, glenohumeral and coracohumeral ligaments. The dynamic stabilizers include the deltoid and rotator cuff muscles which work in a fine balance to elevate the arm and keep the humeral head in glenoid fossa. During the initial phase of post stroke hemiplegia, these muscles becomes flaccid. This low tone makes the surrounding structures more susceptible to damage and results in altered alignment of scapula and humerus. During this phase, dynamic stabilizers are not functioning and reliance is on static stabilizers, which overstretch due to weight of the arm in dependent position. The humeral head displaces inferiorly and anteriorly by a combination of loss of normal shoulder muscle activity and the weight of the upper limb secondary to gravitational pull, which stretches the joint capsule, muscles, tendons and ligaments. Improper positioning in bed, lack of support while the patient is in the upright position or pulling on the hemiplegic arm when transferring the patient can further contribute to glenohumeral subluxation. Significant shoulder pain occurs within 6 months after stroke and there is an increased risk in patients with shoulder subluxation. Huang et al evaluated shoulders of post stroke hemiplegic patients with musculoskeletal ultrasound. They found that acute stroke patients with poor upper limb motor function were more vulnerable to soft-tissue injuries during rehabilitation, and a higher incidence of shoulder subluxation and higher frequency

and the superior aspect of the humeral head



Figure 1 Sulcus Sign



Figure 2 Palpation method to assess the inferior

stroke

(こぶし・武器・金づちなどの)『一打ち』,一撃,打告

《+of+名》 / 《単数形で》(運の)巡り合わせ

《+of+名》 / 《単数形で》(…の)ひと仕事,ひと働き;みごとな成果 《+of+名》 / (鐘・時計などの)『打つ音』

《+of+名》 / (時計などが打って示す)時刻 / (繰り返される動作・運動の)『一動作』,一行程 / (ペン・鉛筆・筆などの)ひと筆,ひとなで;筆の運び,筆致 / 卒中 / (ゴルフ・テニスなどの)一打ち,ストローク / (心臓などの)一打ち,鼓動,脈搏 / (ボートの)整調[手] / 〈ボート〉'の'整調をこぐ / 《副詞[句]を伴って》〈ボール〉'を'打つ

〈髪・動物など〉'を'なでる,さする / 〈人〉'を'なだめる

《+名+down, down+名》 / 一なで,一さすり





約 74,200,000 件 (0.51 秒)

[www.onlinedoctranslator.com](#) > ...

### 無料のオンライン文書翻訳者 - 文書のレイアウトを維持したまま ...

元のレイアウトを維持しながら、複数の言語にオフィス文書ワード・PDF・エクセル・パワーポイント・オープンオフィス・テキスト) を翻訳する無料のオンラインサービス。サポートされているファイルフォーマット: ワード: doc, docx; PDF: pdf; エクセル: xls, xlsx; ...

#### 今、翻訳する

元のレイアウトを維持しながら、  
複数の言語にオフィス文書ワ  
ード・PDF ...

#### すぐにタイ語から英語へ翻訳

当社の無料の翻訳者を利用して、  
どんな文書でもすぐにタイ語から  
英語 ...

[onlinedoctranslator.com](#) からの検索結果 »[freesoft-100.com](#) > Webサービス

### 無料オンライン翻訳一覧 - フリーソフト100

2019/08/14 - オンライン翻訳とは、ブラウザ上で翻訳ができるウェブサイトの紹介です。翻訳機能を提供しているサイトでは、英語のWebページ翻訳、文字列の英語翻訳などの機能が無料で提供されています。cf) サイトによっては翻訳文章、翻訳結果を ...

[translate.google.co.jp](#) > ...

### Google 翻訳

Google の無料サービスなら、単語、フレーズ、ウェブページを英語から 100 以上の他言語にすぐに翻訳できます。

[deftpdf.com](#) > translate

# PDFの翻訳

Googleはこの広告の表示を停止しました

[この広告の表示を停止](#) [広告表示設定](#)

DocTranslator

翻訳者

問い合わせ

PDFをWordに変換

PDFを画像に変換する

PDFを分割

画像の圧縮

JA

さっと翻訳して、どんな言語にもどんな文書フォーマットのレイアウトでも維持。無料。

Googleはこの広告の表示を停止しました

[この広告の表示を停止](#) [広告表示設定](#)

文書の  
レイアウトを維持

104  
の言語をサポート、さらに増える

インストール不要

登録不要

# PDFの翻訳



文書の  
レイアウトを維持



104  
の言語をサポート、さらに増える



インストール不要



登録不要

本サイトは時間やお金の  
節約に役立ちますか？


少し寄付してもらえるとありがたいです。当社は非営利で、ボランティアで運営されています。

\$ 15

PayPal

> 今、翻訳する

# PDFの翻訳

 DocTranslator

翻訳者

問い合わせ

PDFをWordに変換

PDFを画像に変換する

PDFを分割

画像の圧縮

文書をすぐに翻訳



ここにファイルをドラッグ&ドロップ  
または

ファイルをダウンロード

文書をアップロードすると、あなたは当社の取引条件に同意します。

# Deep L



deepl



慎司

すべて ニュース ショッピング 画像 動画 もっと見る 設定 ツール

約 101,000,000 件 (0.55 秒)

www.deepl.com › translator ▼

## DeepL翻訳

DeepL翻訳（無料版）で翻訳しましょう。DeepL翻訳は、最先端のニューラルネットワーク技術を駆使して開発された、超高性能な機械翻訳システムです。英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語、オランダ語、ポーランド語、ロシア語、...  
20/05/06 にこのページにアクセスしました。

www.deepl.com › ... ▼

## DeepL翻訳

DeepLでは、テキストをより深く理解し翻訳できる人工知能を開発しています。

www.deepl.com ▼

## DeepL Translator

Use the free **DeepL** Translator to translate your texts with the best machine translation available, powered by **DeepL's** world-leading neural network technology. Currently supported languages are English, German, French, Spanish, ...

forbesjapan.com › articles › detail ▼

## ドイツの機械翻訳「DeepL」がすごい。ついに日本語対応も ...

2020/05/03 - 困難な年になることが予想されるにもかかわらず、楽観的でいられる理由を探しているのであれば、フォーブスの2020年の30アンダー30アジアクラスを見てみましょう。若手の起業家やイノベーターが毎年選出されるそのリストの中には



## DeepL翻訳

ディープリほんやく

DeepL翻訳は、2017年8月に開始された機械翻訳サービスである。Google 翻訳よりも「精度が高い」と主張する肯定的な報道があるが、自身のblind studiesにて裏付けているものであり、科学的に2つのサービスを比較したものはない。 [ウィキペディア](#)

**開設日**：2017年8月29日

**使用言語**：現行11言語

**設立日**：2017年8月（2年前）

他の上位企業から検索

# Deep L



DeepL

翻訳ツール Linguee

Windowsにダウンロード 無料!

ログイン



原文の言語 ▼

訳文 日本語 ▼

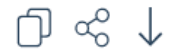
カスタマイズ

アプリもあります

テキストを入力またはペーストしてください。  
文書はドラッグ&ドロップしてください。

(英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語、オランダ語、ポーランド語、ロシア語、日本語、中国語)

文書の翻訳



# まとめ

- 臨床で得られた疑問をPICOとして情報の整理を行う

どのような患者に	Patient
どのような評価、治療をしたら	Intervention
何と比較して	Comparison
どのような結果になるか	Outcome

- 検索式 (NOT, tiabなど) を使用しながらなるべく必要な文献を抽出できるようにする

(stroke[tiab] OR “cerebrovascular disease” [tiab] OR hemiplegia[tiab])  
AND (“electrical stimulation” [tiab] ) AND (gait OR walk[tiab])

- 英語の壁を減らすために、翻訳機能を使用する

